
お水 裏街道

H A L

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お水 裏街道

【著者名】

N Z ハード

【作者名】

H A L

【あらすじ】

お水の世界の素朴な疑問からキヤバ嬢の口が直面する事柄について語ります。

前書き（前書き）

18未満の方へ遠慮下さい

世の中、いろんな仕事があります。

近年もつとも身近になつた職業と言えば水商売ではないでしょうか。ドラマやテレビの企画番組などの影響で水商売の世間的イメージが大きく変わり、今や見た目にそこそこ自信がある女性ならば一度は面接、体験入店した事があるので！？

華やかに見える店内、お酒を飲みながら楽に破格の時給を稼げるつと思い、挫折した女性も星の数程存在するでしょう。

中には、あれよあれよという間にナンバーワンに登りつめた女性もおられる筈。

お店で働いてみて、『何でこの口がナンバーワンなの？？？』と思つた事はありませんか！？

今回は、いろんな店舗で実際に働いていた僕が、そんな色々な疑問に応えていきたいと思います。

お客様として通り詰めた人達では決して分からぬ裏側を書いていくうかなと思っています。

実際何人のギャバ嬢と付き合い、その話や出来事を元にしていきますので、

客側の想像としてはなくギャバ嬢側の思考として楽しんで頂ければ幸いです。

水商売は甘くスリリングな世界、僕は6年程ウェイターからホストまで、いろんな水商売をこの目で見て体験してきました。

良かつた事もあれば、最悪だつた事も多々あります。

水商売を知つた事で金銭感覚は確実に麻痺し、甘く危険な遊びを覚え、ホントに危険な隣人と親しくなつてしまつ……そんな事も高確率でありますので、これを見た皆さんでもし働くヒトがいましたら、よくよく注意して働いて下さいね。

一度入るとなかなか完全に抜け出せない世界、水商売とは、そんな

世界です。

最後に、これはあくまで僕自身の実体験や付き合ったキャラ嬢の口達に聞いた話を参考にし書いていきますので、『それって違くない！？』と思われても軽く流して下さいね。）（笑）

前書き（後書き）

まいじへお願ひごとき。
す。

見えない努力

キヤバクラはホストクラブと違い、見た目がそこそこ良ければ会話ベタや未経験でも3ヶ月もすれば、売り上げ10番以内にかなりの割合でれます。店舗の大きさや設定金額の違いなど様々ですが、大体50～80万といったところでしょうか。

実際見た目が抜群に良くて、働いて次の月にはナンバー3になったコもいましたが長くは続きませんでした。

フロア（店内）で女の口達が接客している様子を僕達従業員は、よく観察しています。

フリー（指名なし）で入ったお客に、どの女の口が合いそうか見ていたり、何か失礼な事をしてないかとか始終考えています。

お客様の立場に立つて物事を常に考える。そう、さつき話した見た目でナンバー3になつた口が出来なかつたのは、そこでした。ノリと若さだけでは限界があります。お客に指名され、何度か接客していく間にそのお客の趣味思考を把握し、努力する姿勢が足りなかつたから段々と働く事がツラくなつていつたのです。

ひとつでもいいから相手の好きな事を自分も上辺だけじゃなく、よく調べ理解する。常にナンバー1の口は、この辺の努力は半端じやありません。

見えない努力：大事ですね。

ある店舗のナンバーワンの口の話ですが、ある日お店に車椅子のお客がフリーで来店されました。

しかも口がきけないので身振り手振りで意思疎通をしなければなりません。当然、店の女の口達は『何であんな人店に入れたのよっ！』といった感じで誰もテーブルにつきたがりませんでした。

そんな中、ナンバーワンの口だけは違っていました。

彼女は、そのお客様の接客中、必死に相手の身振り手振りを理解しようと努力し、お客様を満足させようと頑張っていました。

周りの「達は、よくやるよ」といった冷ややかな反応でしたが、そのお客様はとても喜びナンバーワンの「を場内指名し、帰りには僕達従業員に握手して帰る程喜んで帰りました。

そうして2日に1度はナンバーワンの「を本指名で来店するようなり、すっかり店の常連さんになりましたが、びっくりしたのは、そのお客様に対してもなくナンバーワンの「に対してもでした。

その車椅子のお客が来店するようになつて数週間…彼女は手話でお客と会話が出来るようになつっていました。

店の「達もこれにはびっくりし、ナンバーワンの「は一皿置かれる存在となりました。

見えない努力…大事ですね

何となく気になった事

皆さんキャバクラで働いて何か疑問に思つた事はありませんか？
スゴく気になつた事から、何となく気になつた事…何かしらあると
思います。

例えばお店の営業が終わり、テーブル上のグラス類を片付け、翌日
の営業の為に軽くセッティングした後、お店の女の口達を男子スタ
ッフが比較的近場に住んでいる口数人に振り分けて車で送つていく
訳ですが、『ん！？』と思つた事はありませんか！？

普通、送りの時は近場の口から順々に送つていくのです。

そしてその順番は一度定着すれば、よほどの理由（急用など）がな
い限り変わりませんが、ある日を境にして変わつてしまふ事があり
ます。

そう、送りの男子スタッフと女の口がデキてしまつた時です。

今まで3番目に送られてた口が、ある日から最後に送られるようにな
つた…という経験をされた人もけつこういると思います。

ふと疑問に思つて『ワタシより○○ちゃんの方が家近いよおつ』と
男子スタッフに言つてあげた口もいるでしょう。

その瞬間、男子スタッフが送りが最後になつた女の口、どちらかが
拳動不審だつたり、妙に声が高くなつたりしたら、ほほ間違いなく
2人はデキてます。

いつもあの口だけ社長がマイカーで送るという場合、その口は社長
に口説かれている最中かすでに口説かれています。

この場合、月々うん十万の小遣いと賃貸マンション付きで。

口説き慣れてる男子スタッフならば怪しまれない為に、デキてる口
を待ち合わせの場所を決めておいて、順番通りに送つておいて送り
が終わつてから会つたりします。（あらためて家に迎えに行く事も
あります）

その位水商売の男子スタッフは手が早いです。

中には同じキャバクラの店舗内で女の口達に5股を掛けた…なんて強者や、強引に口説かれて付き合つてみたら実は、妻子持ちだったなんて事も結構ありますので、お店で働いてる口やこれから働くうかなど思つている口は、よくよく注意して下さいね。

それが元でお店の中が嫌な空気になつたり、お店に居られなくなつたりクビになる事もありますので…（男子スタッフだけクビのパターンが多いですが）

僕の場合は、誰かにチクられバレましたがクビにはなりませんでした。

しかし段々と口づらくなりますが従業員同士で付き合つのは、お薦め出来ません。仕事じづらになりますしねつ（笑）

キャバ嬢の時給について

キャバ嬢として働く理由といえば高い時給でしょう。

場所や店舗の規模にもよりますが、水商売未経験スタートだと平均2500～3000円位だと思います。

人口の多い繁華街なら街全体の平均時給は高くなりますし、反対に活気の余りない街なら平均時給は低くなりがちです。

例えば23区から少し下ったT市の平均時給は3000円で当然、僕の勤めていた店もスター時給は3000円でした。

これを基本として主にマイナスしていきます。

1日3、4時間しかできないとか週2～3日しかできないなどだと店の主戦力として期待出来ないので2500円位を女の口側に提示し、難色を示した場合、余程その口が欲しくない限り、やんわりと断ります。

後、見た目が明らかにマズい場合（かなり太っているなど）一応面接はしたんですけど、ちょうど募集がいっぱいになってしまって、また募集が必要になつた時にこちらから連絡します等、適当な理由を言つて帰つてもらいます。

大概の店は、1ヶ月時給保証をしていますが、1ヶ月を経過したら店側はシビアな時給査定を開始します。

査定項目は大体以下の通りです。

- ・総売上金額
- ・指名本数の数（場内指名含む）
- ・ドリンクやフードのオーダー数
- ・1ヶ月の出勤日数と1日辺りの勤務時間
 - ・遅刻や欠勤の有無（頻繁だと確実に下がります。）
- などですが、大体店側がその口に支払っている総支給額をその口の売上が下回ると時給は下がります。

例外として、仕事中とても熱心に接客しているし、ヘルプや客引き

(今は厳しいですが...) も率先して頑張ってくれているなど、好印象の場合時給キープか稀に上がる事もあるので、余り売上が上がらないヒトは、そういう所でポイントを稼ぐと良いでしょう。

やつてはいけないのは、遅刻欠勤が一番ですが、ヘルプを頼んだ時の態度が悪いと印象は悪いので気をつけましょう。

待機中の態度も男子スタッフは見てないようで、とてもよく観察していますので、あんまりだらけてたり他の口とお喋りばかりしてると査定に響く事もありますよっ

最終的に勤め始めて3ヶ月経過した時点(4ヶ月目)で最初の時給より千円前後下がっていたり、店側としては『自分から辞めて』と無言の圧力を掛けていますので他を探してみましょう。

ヒトの内面

水商売を長くしていると、普段では余り見る事の無い場面を度々見る事があります。

例えば、見た目羽目を外す事が無さそうに見える小学校の教頭先生が、お店に学校が終わり飲みに来ると一変して変人に豹変したり、彼女が付き合つてから間もなくキャバクラで働くようになり何か原因があつて振られてしまい、危ないストーカーになつてしまふ元力レ（連日客として元カノに会いに来店し、金が無い時は店の前で待つている）等、人間の普段人前では隠している部分を垣間見る事が出来るのです。

キャバクラに勤めている人間は、仕事の性質上、人間観察したり人の内面を考察する事に段々と長けてきます。

つまりそれが上手いヒト＝お客のニーズに上手く応えられる売れるキャバ嬢となる訳ですが、その能力に過信してあんまり調子に乗ると思わぬハプニングに巻き込まれる事が稀に起こってしまいます。水商売は、ドロドロした世界…客に物を買つてもらつたり、現金を貰つたり借りたりは、ある程度のキャリアになつてくると大なり小なりあります。

客の本質を見誤ると、限界まで金を吐き出した客は普通来なくなる程度ですが、ごく一部危険なストーカーに様変わりしてしまいます。僕の知り合いで、客とトラブルになりその客が元その筋の方で、そのコの実家や知り合いでが執拗な嫌がらせや暴力に悩まされ、一家で夜逃げのように引っ越しを余儀無くされたコもいました。

そのコも客が金に余裕のある人だと調子に乗つてブランド物を何度もおねだりしたのが原因ですが、その結果周りの人達に多大な迷惑を掛ける事になつてしまつた訳です。

ちなみにそのコはしばらくしてからまた一人暮らしを始め、キャバクラに復帰しました。

怖い思いをして家族に迷惑を掛けても止められない世界…それがキヤバクラなんですね。

皆さんもどうか気をつけられてこませ。

スカウト基準

少し見た目に自信のある女性ならば、街中を歩いていると見るからに水商売の人間に声を掛けられた事がある筈です。

そうキャバクラのスカウト、別名カラス族。

少し前に駅前でカラス族一斉摘発があり有名スカウトマンが捕まりましたが、店側としては他店と差をつける為にもスカウト行為をやめる訳にはいきません。

スカウトには店の男子スタッフが営業前に行うのと、専属スカウトマンによるスカウトがあります。

専属スカウトマンがいる店は繁盛しているか系列店舗が多い力のある会社のキャバクラの可能性が高いので、働く店を選ぶなら専属スカウトの方が優遇されるでしょう。

僕自身も連日スカウトには行きました。半分仕事、半分遊びでつ（笑）

というのも、連日スカウトの為例え駅前で女性に声を掛けていると、はつきり言ってテンション落ちます。

100人声を掛けて話を聞いてくれる人は10人にも満たないので、精神的にキツくなりますし結果が出ないと更に落ちます…

メインの仕事は店内業務なのに、その前にクタクタになってしまいます…そう思った僕は、半分話術の練習（店内のお客様とのトークや客引きの時に役に立つので）とナンパのつもりで気楽にやるようになりました。

当然私服でスカウトし、気分が乗らない時は喫茶店でコーヒーを飲み、全くやる気の無い時は軽くパチンコをしたり…

その位の気持ちでやつた方が案外上手くいったりします。

楽しみながら何でもやつた方が良い結果が得られたりしますよねつ話が反れましたがスカウト基準というモノがあり、スカウトした女性を言葉は悪いですがランク付けをします。

会社や店によつてマチマチですが、大体以下の通りです。

Aランク：容姿が抜群、経験者なら尚更良い。

各ランクには上中下とあります。

Bランク：容姿はまあまあで第一印象が良い（雰囲気や笑顔等）

Cランク：見た目はやや劣るが一応スカウトする。（後々化ける事があるので）

Aランクなら7～10万、Bランクなら4～7万、Cランクでは1～3万円がスカウトした女性がちゃんと1ヶ月お店で勤務した後でスカウトマンに店側から支払われるのですが、あんまりちゃんとした経営者ではない店だと、払ってくれない事があります。

客引きにしても一組連れて来れば〇〇円バックとしている店もありますが、後でそのシステムが勝手に無くされていて、やる気を無くさせてくれる事も何店舗がありました。

貴女がもし街中で専属スカウトマンにスカウトされ、程なくしてお店で働き始めた後、日に何度もメールや電話できめ細やかなアフターケアを1ヶ月の間受け続けたのならば、貴女はAランクの可能性が限りなく高いという事です。

キャバクラの肝

キャバクラの経営…皆さん、どう思います！？例えば楽そうだつとか儲からない感じがするとか。

実際のところ正直、人次第です。

『それって随分アバウトじゃないつ！？』

と思われた方、ごめんなさいっ（汗）

もう少し突き詰めて言えば…人次第ですっヤツパリ（汗）つまり女の口の見た目のレベルも大事な要因の一つですが、そんなにぶっちゃけ超美形が揃う事なんてありません。

『あるよつ！-』と思つた方、それは店側の演出やスタイリストさんや女の口個人の努力による効果（キャバ効果）です。例えるならスーツ姿の男性が普段着より2割増し男前に見えてしまつかのようだ…

一年程前に同じような規模のキャバクラの店舗同士（女の口の数も同数）がオープンして一年後、売上に倍近く差があつた場合、何故そこまで明確な差が出たのでしょうか！？

そうなつた要因を列挙すると長くなるので省きますが、キャバレンジャーの方ならピンとくるかと思います。

その2つのお店…男子スタッフに明確な差がありませんか…？
売上の好調なお店の方は、男子スタッフが礼儀正しく元気良く一生懸命動いているはず。

一方、売上の低迷している店舗は男子スタッフの態度も横柄で対応もいまいち遅く、やる気があまり感じられず、そのくせ自分の見た目にはとてもこだわるズレた男子スタッフ。

本当にやる気があつて頑張っているヤツは髪型を気にする余裕もなく神経を研ぎ澄ましフロア内のお客様と女の口達に田を配り気を配っています。

『そんな事言つても売上上げるのは、女の子口達だろつ』

とお思いの方、男子スタッフが一生懸命だと、どうこう効果があるかというと…

お店の雰囲気が明らかに変わります。

お客様のお店に対する印象も圧倒的に良いのです。

つまり、男子スタッフの対応や人間性に好感を持ち、仮にお客様の指名していた女の口が辞めてしまつてもフリーで来店してもらえる確率が格段に上がり、やがては別の女の口を指名してもらえるようになります。そんなやる気のある男子スタッフのいる店舗だと、当然女の口のやる気も向上します。

僕自身の話になりますが、常に一生懸命頑張っている姿を女の口達はちゃんと見ていてくれるもので、僕が頑張っている姿を見て『私も頑張らなくちゃ…』と思つたと言つてくれた口がかなりの数ありました。

僕の最初にお世話になつたやり手の店長も『店の売上は男子スタッフで決まる!』とおっしゃっていました。

やる気があつて女の口達にも尊敬される男子スタッフが1人辞めただけで、その後その店の規律は乱れ、他の男子スタッフもだらけ始め女の口達から不平不満が溢れ出し、半年後に閉店した…という話は本当にあります。

これからキャバクラを開業したいとお思いの皆さん、その際には是非男子スタッフの教育と、どうしたら男子スタッフがやる気を出して働いてくれるかを考えて開業させて下さいね!

ヤバいお店

日本中に星の数ほどあるキャバクラですが、内容はピンきりです。前回キャバクラの売上は人次第と書きましたが、経営者のビジョンと店長の力量…これも大事な要素となります。

店長の力量は、キャバクラでなくとも当たり前の話ですが、経営者がいい加減だと被害を被るのは、第一に現場で働くスタッフ（女のコや男子スタッフ）です。

つまり、最終的にツブれる訳ですがその場合、給料が支払われない事がかなりあります。

えげつない経営者だと給料未払いの事を言うと逆ギレして『お前達がもつと客呼ばんから店が赤字になつたんだろうがっ！』と怒鳴りつけられ、泣かされるコもいます。

中には店が赤字で2ヶ月給料未払いの状態、だけど店の寮に入っているから辞められないコもいました。

そのコも流石に3ヶ月目も給料の支払いが無さそうだと見て、実家の両親に頭を下げ、車で昼間来てもらい家財道具を運び出してもらい何とか店からバツクれる事が出来ました。

後日、このコが働いていた店では働いていたコ全員が給料未払いだつたそうで、系列店舗でも何店舗か未払いだったそうです（ ）！

これは西武池袋線のある街の話で現在もその街では数店舗営業しているので、働くお店を探す際には気をつけて下さいねつ

少しヤバい店の見極め方をアドバイスしたいと思います。

完璧に見極めは出来ませんが、以下の例に該当する場合は注意が必要です。

注1：お店に男子スタッフが1人しか在中していない、または1人で何店舗か見てている為、男子スタッフが居ない時間がある。

注2：給料が他のお店に比べかなり低いのに、オーナーは高級外車

を転がしている。（自分一番主義の可能性大）

注3：お店の名前を短期間にコロコロ変える。

注4：お店の女の口に手を出す、または奥さんが元お店の女の口。

（公私混同）

注5：犯罪行為を男子スタッフに強要する。（カードの一重請求や客の様子を見てのぼつたくり）

注6：既に在籍している女の口にやる気が見られない。（男子スタッフが腐っている可能性大）

以上のような条件の内3つ当てはまっていたら危ないです。

僕自身も注1と注3に当てはまる店で働いていた時、給料が遅延して（女の口達もでしたが）辞めた事がありました。

後日、給料を貰いに行つた時そのオーナーは財布から8万出し、『事前に辞める事を言わなかつたからこれでいいなつ』と僕に手渡し、内心『これでいいなつて半分もねえじゃんっ！…』とムカついていたら、ヒヨイフと僕の手のひらの8万から1万つまんで『財布が空になつちまうからやつぱり7万なつ』と、一緒に入った喫茶店から1人意氣揚々と去つて行つたのを（　　・・）状態で見送つたのを今でも覚えてます。そのオーナーはケチで有名だったそうですが、当時経験の浅い僕には見抜けませんでした。
キバクラやパパ活等選ぶ際には、楽そうだつ　という店選びには注意して下さいねっ

キヤバクラとは少し違いますが、パブクラ^bやパブスナックつりますよね。

一般的には、キヤバクラより安価でコンパクトなお店ですが、こういうお店にはママさんがよく居たりします。

見た目はジャイアンのような方から美人令嬢といった方まで様々ですが、今回は後者の方のお話。

ある街のあるパブスナックに年は35才位の美人のママが居ました。パツと見、お嬢様育ちの美人な女性といつた感じで雇われママで水商売経験も浅い割に人気がありました。

程なくしてそのママにも彼氏が出来ました。お店の常連さんだった方です。

時が経つにつれ、そのママさんは悩み始め、段々と深刻に悩み始めました。

お店が終わった後、軽く話を聞いてよと言われ、水割りを飲みつつママさんのお悩み相談が始まりました。

『今、彼氏と付き合つてゐるでしょうつ私はあへ隠してゐ事いっぱいあるんだよねえつ』

ママは、普段言えなくて溜まつていた思いを第3者の僕に話し始めました。

『今のじ時世、隠し事くらい大した事ないよつ』と思いつつ笑顔で聞いていると、

『彼氏32才なんだけどさあ、私は5つて言つてるけどどうやらけ42なのよねえ~』

僕は、そのくらい平氣ですよつ 年の差カップル流行つてゐしつと助言しました。

すると続けてママは語ります。

『後、バツイチなのとは言つたけど、子持ちとは言つてないのよ

「…今17の女の子と19の男の子なんだけどあ～

僕は心の中で『それはちょっとキツい』と思いつつ、まあでも付き合つだけなら関係ないかっ と思い、『ちょっと（ー？）ビックリするかもしけないけど平気だと思いますよ。付き合つてているだけなら問題ないしつ』

そう言いながらタバコを吸おうとテーブルに手を伸ばすと、更にママさんは続けて言います。溜まっていたストレスを吐き出すかのように。

『そんでねえっ実は彼氏に結婚しようって言われててね、私の子供が欲しいって でもさあ～私、かなり顔イジッてるんだあつ…目も整形だし頬はワイヤー入れてシワ伸ばしてるし、ヒアルロン注射はひと月事に射ちに行つてるし。彼氏二重でしょっもし一重のコが産まれたらバレちゃうよねえ～つ』

ちょっぴり引いた僕は努めて普通に『それは言わなくていいと思いますよ。人間誰にも言わず隠してる事なんて1つや2つあるもんだからつ』と内心改造人間ですかつと思いながら助言し、そろそろ終わりだらつと思つていると…

『それとさあ…私、ここでママやる前デリヘルの経営してたんだけど、そこでクスリもさばいてたのねつそこで警察に摘発されちゃつて、今執行猶予中なんだけど、それってバレないかなあ～！？』
結婚はヤメなさいつ！！と強く思いつつ、『バレないと私は思いますよつ お互い愛があれば大丈夫つ 大丈夫つ』と思つてもいい事を言い、さつさと後片付けして帰りました。

皆さんも見た田舎系のママさんに会つたら、その裏の顔も見極めてみて下さいねつ

飲まないお客様（前書き）

聞きたい話や書いて欲しい水商売の話があれば教えて下せうねっ

飲まないお客様

水商売は飲み商売。酒という媚薬があつて成立する商売ですが、当然飲めない女の口もいれば飲めないお客様もいます。

お客様は、飲めなくても来店している間とても楽しんでいますが、接客する側は少しキツいと思います。

酒の力は皆さんも良い事悪い事ひつくるめて御存知だと思います、お客様が飲まないのに、『遠慮しないでどんどん飲んでよつ』という言葉に甘えて本当に一人だけ飲みまくる訳には、いきませんよね！？

飲まないお客様というのは、総じて田当ての女の口の一挙手一投足をよく見ていますが、そういうお客様こそ店側は大切にすると良いですっ というか、常にシラフのお客様を意識したサービスを男子スタッフも心掛けていれば、そのキャバクラは潰れる事は無いでしょう。

皆さんには接客業の経験は無いとしても、居酒屋で注文した際ぶすつとした表情や態度の店員が応対した時、内心『何口イツつやる気あるの！？ 気分ワルツッ』…これに似た感情をもつ筈。

そしてよっぽどその後、対応の良い店員かお田当ての店員でも居ない限り、その居酒屋に率先して行きたいとは思いませんよね。

第一印象とは商売では、とても大切です。つまりシラフのお客様とは、この第一印象と同じで、シラフのお客様の評価の高い店（女の口、男子スタッフ含めて）は他のいっぱい飲んでテンションの高いお客様の評価が高いより、僕はお店を評価します。

僕自身、現役の時には他店に飲みに行き、ワザとシラフのままで店全体のサービスをチェックしていました。

飲まない客＝金にならない客と判断して余りこぢらの事を注意していない店より逆に僕に何かを感じきめ細やかなサービスを提供してくれた店舗の方が後々までお店は繁盛していました。

キヤバ好きの皆さん、シラフのお客様と知り合いになると質の良い
店舗情報が得られるかもしませんよっ

様々なケース「浮気編」

もう少しでクリスマス、1年で恋人同士が1番盛り上がる時期ですが商売柄、キヤバ嬢やホストにとつては1番売り上げを上げられるイベントなので彼氏彼女より、仕事が優先される事も多々あります。皆さんの中には、恋人がキヤバ嬢、又はホストだという人もおられるでしょう。

そして付き合つてある程度月日が経つと色々と相手の胸の内が気になつてイライラしちゃいませんか！？

1番心配なのが浮気…そして自分は本命なのかと。

僕自身、キヤバクラの男子スタッフだつたりホストだつたり、又は自分は無職で彼女はキヤバ嬢だつたりしました。

浮氣したり浮氣されたりは、ある意味つき物でした。

しかしほぼ浮氣しないタイプもいますので一概に言えませんが、経験上コレはアヤシいという事をお話しします。

ケース1：恋人が水商売だが、同棲している。：同棲しているから安心つ　という訳ではありません。1番安心ではありますが100%ではありません。

例えば、付き合い始めの頃には仕事にお揃いの指輪をしていつくれたのにしなくなつた。

お客様に恋入るよっ　とはっきり言つてくれていたのにいないと言うようになった。（指名してもらつには、やっぱりしようがないよ。）
という言い訳も信用できません。）

毎日ある程度決つた時間に帰宅していたのに、週に何日かいつもより遅く帰るようになつた。（よくある言い訳はアフターや同僚とのミーティング）

以上のような場合、かなりアヤシいので、注意を。

ケース2：店内で意気投合し、付き合い始めた場合。

この場合、ノリという要素が強い為最初の1ヶ月である程度自分が

相手にとつてどういう存在が分かれます。

分かり易いのが相手の働いている店に恋人なのにお金を払つて来店しているという貴方… キケンです。

またお互い誕生日プレゼントを相手に贈つたのですが、自分は高価な贈り物をしたのに相手はその半分もしない物だつたら… キケンです。

このケースの場合、他にも恋人と称する輩がいる可能性がありますのでご注意を。

ケース3：付き合い始めてから恋人が水商売を始めた場合。

女性の場合は純粋にお金目的の場合が殆どですが、男性の場合、特にホストを始めたいという男性はテレビの特集の影響などから淡い夢を見たり、女の子にモテたいなど少し動機がヨコシマなので、その時点でご注意を。

こういう場合、仕事を始めて1ヶ月位は連絡が余り無く、ホストに限界を感じた頃連絡があつたりしますので、長い目で自分も遊びながら相手が自分の手元に戻つてくるのを待つてデキた女性を演じるのも一つの手です。

他にも色々なケースがありますが、相手の様子が以前と変わり始めたら少し注意して観察する事をお勧めします。

心の隙間（前書き）

読みたい知りたい水商売の事があれば教えて下さいねっ（^-^）

心の隙間

水商売は人商売。いろんな人々に出会います。

僕自身は、お客としてキャラクターにハマつた事はありませんがキャラクターやホストにハマるタイプは人一倍寂しがり屋な人間だと思います。

家に帰ると寂しさが込み上げてくる…

人といふのに何故だか孤独感が心の片隅に常に存在する。

こういったタイプの場合、依存症になつてしまつ可能性がとても高いでしょう。

僕は、こういったタイプの人を『心に隙間を抱えた人間』と呼んでいます。

もちろん僕自身もこの人種です。ここで肝心なのは、自分が『心に隙間を抱えた人間』だと客観的に理解しているか！？という事です。『心に隙間を抱えた人間』は、無意識の内に隙を漂わせています。自分にはそんなつもりはなくとも…

それは目線であつたり表情や姿勢であつたり様々ですが、寂しさ故に人に自分を受け入れてもらいたいと思う潜在意識からそうしてしまう癖が…

気をつけて頂きたいのは、こういった心の隙間を抱えた人間を見極め獲物にする人間が水商売には、とても多いという事です。

水商売に長く適応した者は、『心に隙間を抱えた人間』をファーストコンタクトで見抜く事が出来ます。僕の場合はその人をパツと見た瞬間分かれます。

同じ人種という事もありますが、その人の眼と表情から分かるのです。

こういったタイプの人は情が厚い場合が殆どで、長い時間利用されてしまう事になりかねないのでご注意を。

『情が厚い人が何で同じようなタイプの人を騙したり利用するの！

?』と疑問に思つた方もいると思います。

問題は、自分が好意を持つた相手に情が厚いのであって、そういう相手にはとてもクールなのです。（表には出しませんが…）表面上は、とても優しく穏やかに…しかし代価として結果高額な支出（飲み代や現金）を余儀無くされる。

またこのタイプはマインドコントロールされやすいので気をつけ下さいね。

そういう事にならないように自分が『心に隙間を抱えた人間』かも！？…と少しでも頭をかすめた方、もう一度自己分析をしてみては如何でしょう。

キャバクラの派閥、そしてトラブル（前編）

もうじきクリスマスですねっ

街はイルミネーションで華やかになり、業者はあの手この手で自分の商品を買ってもらおうと必死に頑張っている訳ですが、水商売もこれから年末にかけて1年で一番稼ぎ時を迎えます。

従業員（この場合、男子スタッフ）にとつては地獄のような毎日が少ない正月休みまで続く訳です。（男子スタッフの皆さんコン○ル飲んで頑張って下さいねっ）

全然関係無い話しちゃいました、キャバクラと言えば色々な女性がいっぱい居ますよね。

1つのお店に30～100人位まで様々ですが、僕は大体40～50人程度のお店でよく働いていました。

といつても毎日お店に出勤していくレギュラー組は20人程で、後は週2～4とか出勤時間が短いなど主戦力ではない口達ですが。しかし、これだけの人数の女性が集まるとやっぱり気が合う合わないが生まれ、気がつけば派閥のような構図が口が経つにつれて出来てしまします。

さしづめ現代の大奥と言ったところでしょうか。

大概まずは同年代とかノリが合う同士で仲良くなります。

後は、見た目マイクとかファッションが似てる同士とか共通点がある口達が固まる傾向がありますね。

別枠として、既にN.O.・1になる口（大概は他店から引き抜いてきた有望株の口）はこういったサークル感覚の集団には、自ら入って来ません。

接客をしていく内に当然N.O.・1の口なのでヘルプの女の口達が何人も必要です。毎日何人の女の口達がN.O.・1の口のテーブルでヘルプをする内にいつの間にか派閥が誕生するのです。

理由は様々です。自分がN.O.・1の口に気に入られれば最初ヘルプ

でも場内指名されたりドリンクオーダーをせてもうれたりと、自分の利益になると考える口も居るでしょう。

また、すぐ接客の勉強になるっ！と思つ口もあると思います。こういった素直な気持ちでヘルプに着いてくれる口を可愛がる事が〇・一の口には多いです。

そうして可愛がられた口も程なくして売上上位になる事がほとんどですね。

働いていていつも思つた事は、『1番の口って何故だか孤独に見えるんだよなあ…』という事。

他の口達みたいに終わつた後、飲みに行つたりカラオケ行つたりして親密になるつて事が僕が見てきた口達には無かつたなあと…まあそんな時間があるなら売上の為に、お密とアフターしますつていう事なんでしょうけど、少し寂しいなあと思いまして…派閥同士でぶつかり合つ…なんて事はドラマじゃあるまこしありません。

売上が伸び悩んでいる口を仲間同士で助け合つ事はよくあります、夜王のような事は無いのであしからず… m(=^_-^)=m
1番困るのが仲良しでヘルプに着いてた口が起こすトラブル…小さい事ではタブーを口が滑つて口にする。デカいやつだとお密に指名の口に内緒でおねだりするパターンです。

実際にあつた話ですが、指名の口とヘルプの口はお店で仲が良く、2人一緒のテーブルというのは当たり前でした。

ある日指名の口が当日急遽休みになり、それを知らないお密は来店してしまいました。

僕は、お密に事情を話し申し訳無いが今日だけフリーで飲んでもらおうとしたが、ヘルプでいつも着いていた口が『ワタシが着くよつ後で〇〇さんが来た事、チャンにはワタシが言つておくからさつ』と言つてきたのです。

僕は一瞬悩みました。指名の口に先に一言言つてからの方がトラブルにならないし…。しかし携帯が繋がらない為、お密にとつても

ヘルプでいつも馴れてる口の方が良いだろ?と思いつつ、その口に着いてもらいました。

程なくして問題が発生しました。ヘルプの口に場内指名が入ったのです。

今まで一度も場内なんて無かつたのに…

僕は内心『あの口、まさか指名の口が居ないからって自分からお願ひしたんぢゃないだろ?なあ!?』と訝しがり、テーブルで上機嫌で梅酒を飲んでいる女の口を見やりました。

女の口は微妙な笑顔で故意なのかどうかは、その場では分かりませんでした。

その後店がとても忙しくなり、そのテーブルばかり気にする余裕もなくなり、気が付けばお客は会計を済ませ帰るところでした。

僕は『本日は申し訳ありませんでした。』と頭を下げ見送り、何となく僕と田線を合わそうとしなかつた女の口の所に言つてさつきの場内指名のいきさつを尋ねました。

『あつアレねつなんかワタシの事気に入つてたんだけど、チヤンの手前場内指名出来なかつたんだつて。チヤンにはワタシから上手く言つておくから気にしなくて大丈夫だよつ』

本当に大丈夫かあ!?と内心相当思いましたが、余り深入りしたくない気持ちもあり任せることにしてしまいました。

しかし問題は2日後に勃発したのです…

(長くなつたので次話に続くm(—)(—)m)

キャバクラの派閥、そしてアラフル（後編）

ヘルプの口が『上手く言つておくからつ』と言つた翌日、昨日休んだ指名の口が出勤してきたので、『 チヤン体調大丈夫！？ 昨日○○さん来店したんだけど チヤン携帯繫がらなくてさつ○ チヤンから昨日の事聞いた！？』

僕は当然、昨日のヘルプの口の言葉を鵜呑みにしていたので笑顔で尋ねると、指名の口の表情がいつもの笑顔から一辺して厳しいものになつたのを見、『 アイツ言つてねえなつ！…』と思つました。慌てて取り繕おうと僕は指名の口に昨日のこきあつを素直に話し、自分が軽率だつたとその口に謝りました。

『○○クンのせいじやないよつ気にしないでつ ワタシが電話繫がらなかつたのがいけないんだし。でも、ちよつと氣になるかな… ○ チヤンに聞いてみるねつ』

心中で『ええ口やあつ』と思い様子を見ていると…

『 ○ チヤン電話留守電になつてゐる… ○○さんに聞いてみるよつ … そう言いお客様の方に電話を掛けたのですが、お客様の方も留守電だつた為ヘルプの口が出勤してきたら事情を聞く事にして営業前準備を継けました。

ところがお店が始まつてもヘルプの口が一向に出勤してきません。

連絡も無いし、携帯も相変わらず留守電のまま…

『何があつたか！？』と不安に思つてみると、僕の様子を見ていた指名の口が尋ねてきました。

「 ○ チヤンから連絡あつた！？」 「いや、携帯も留守電のままだし… とりあえず様子見るしかないかな。」

そうして、その日は何の連絡も無く一日の営業は終了してしまったのです…

『自分で説明するつて言つたんだから、ちゃんとしろよつ！…』 心の中でも力つきながら大事にならなければいけないと想い、送迎に

向かいました。

そして運命の日…僕は、いつも店に一番に入つて営業前準備をします。

後輩をアテにして準備が出来ていなかつたりすると嫌だつたので、自分で好きなBGMを聴いて準備するようになりました。

その日、いつもは静かな店のあるビルの地下1階から何やら人の声が聞こえます。

『んつ！？もう誰か来てるのかな！？』と思ひながら階段を下りると、店の前には部長と数人の女の口達が居ました。

「おはようございます、部長。どうかしたんですか！？」

「おはよう、〇〇クン。実は チヤンと〇 チヤンがお客の事でトラブつて…今、隣の居酒屋で話し合つてるんだよ。」

『やつぱりか…』 そう思いながら、何かやらかしやがつたなど溜め息をつくと、一緒に居た女の口達が僕の前に立ちヘルプの口の文句をまくし立て始めました。

「〇〇クンつ聞いてよ！…〇 チヤン、ヒドいんだよ チヤンのお客さんと勝手に内緒で会つて、ROLEXの時計買わせたんだつてえつ…！」

マジかよ… ROLEXの時計はレディースで定価50万円程度。それがあるうじとか人のお客に買わせるとは…

当然、話し合いでの解決は見込めず、部長が仲裁に乗り出しヘルプの口は系列店に移籍、ROLEXを買わせたお客のアドレスもその場で消去せられました。

しばらくは店では、そのヘルプの口の文句が飛び交い険悪なムードが漂いましたが、その内落ち着きました。

仲が良くとも予想だにしない事態が起こり得る…マジ女は口エロなあと思い知った事件でした。

皆さん、他の口が羨ましくてもこうして行為はやめましょつね

接客と年齢制限！？

キヤバクラブやホストクラブでは、概ね10代～20代前半の人達が働いています。

最近は年上の女性が社会的に人気がありますが、上記の場合メインはやっぱり若い人達です。

お客様のニーズがやはり若い人がいいという声が多いという事もありますが、若いという事が売上を上げる重要な要素になるからです。皆さんも経験があると思いますが、10代の頃、有り余る自信と負けん気とする気でがむしゃらに突っ走つたことでしょう。

僕の場合、水商売の道に入ったのは23才の時で他の人達よりも遅かったのですが、もっと若い内に始めていたらなと思う事が何度もありました。

ウェイター業務に関しては、やる気があれば何とかなりましたが接客は、はなくホストとしてやる気だけでどうにかなるモノではないからです。

はつきり言ってキヤバクラブのお客よりも、ホストクラブのお客の方が色んな意味で厳しいです。

話術・盛り上げ方・テーブルマナーに至るまで、こいつっては語弊があるかもしれません、どちらも見てきた僕自身そう感じました。具体的にどう厳しいのか！？というと、まず男性客より女性客の方がシビアに物事を見ているという事。

ヘルプに関して言えばキヤバクラブの男性客の場合、基本的に男は指名の女の口でなくとも態度をあからさまにえたりキツくなったり余りしませんが、ホストクラブの女性客は違います。約半数の女性は明らかに変わります。

それを敏感にホストは感じるから萎縮し自分が満足出来る接客が出来ず、結果お客様の機嫌を損ねてしまう事が多々あるのです。

男性客なら『まあまあ大丈夫だから気にしないでっ』といった言葉が女性客だと『何アンタつやる気あんの！？他のホスト呼んでよ

つー!』となる訳です(トート)

そして他にも若い方が良い面として適応力の高さがあります。

例に出して言えば、カラオケの曲を覚えるのもテープブルでのコール、タンバリンの演奏など、若い口の方が普段からある程度知っていたりして覚えるのが早いです。

また年を重ねてくるとテンションを上げる事がとても苦しくなってきます。

よく言えば人間的に落ち着くという事ですが、ホストクラブでは余りプラスになります。

恥をかく事に対しても抵抗が強くなってしまいます。

僕自身は24~26才までがホストをやついて一番良かつた時期です。その後2年程やりましたが、自分がホストを楽しんでやつてなかつたという事もありますが苦しい思いをしました。

まあ途中辞めてまた新たに違う場所で1から始めたのですが、やっぱり始めたばかりが1番という事です。

もっと若い内に始めたかつたと24才で上手くいっていた時、思つたのですから。

『じゃあ若くなくちゃ接客業はダメなのか!?』とお思いの方、そんな事はありません。

仕事にはニーズがあります(* ^ _ ^ *)

そちらへんは次回お話ししますね

20代半ばからの水商売（男性編）

女性が働ける水商売には主に、キヤバクラ・パブクラブ・パブスナック・熟女パブ・スナックがあります。

キヤバクラから順に年齢層が上がっていき最終的には60代位までが働いていますが、男性にもこれと似た感じで、ホストクラブ・メンパブ・メンズクラブ・サバー・メンズスナックなどがあります。ホストクラブからメンズクラブまではシステム的な事や働いている男性の年齢層に大きな違いはありませんが、サバーとメンズスナックは少し違います。

まずは働いている人が主に20代半ばから上は40代位までです。僕はどちらの形態の店でも働いていましたが僕より年下は2人だけでした。

お客様の年齢層も高めで10代のお客は数える程で、メインの客層は30～40代です。

システムも指名はほとんどの店では無く、料金もリーズナブルに設定してあってボトルを入れてフードを2品オーダーしても一万円あればお釣りがきます。

お店によっては同伴料だけ取る店もありますが、2～3千円です。サパーなどなら充分20代後半から30代でも働けますし、お客様の年齢層が高いので落ち着いた接客ができます。

従業員同士も指名のお客の取り合いで無い為、すごくフレンドリーな関係を築き易く僕はホストクラブで働いていた時より『なんてやり易いんだつ』と思いました。

ただし指名が無いという事は出来高制の要素がホストクラブに比べ格段に低く、いくら売上を上げても即給料アップにならないという事です。

徐々に時給が上がりますが、ホストのように売上の半分が給料として返ってはこないのでそこらへんが寂しいですね

だから下記に記した事に当てはまる方は働いてみたらいいんじゃないでしょうか！？

- ・売上を気にしないで接客がしたい。
- ・気さくな職場で接客がしたい。
- ・昼間の仕事より時給が高めで日払いをさせてくれる仕事がしたい。
- ・やっぱり給料は低くとも女性と知り合える仕事がしたい。（笑）

などの方はチャレンジしてみては如何でしょう。夜の世界はやっぱり楽しいですよ～（*^-^-*）

ただしサバー や メンズスナックなどの場合、男性客も多く来店なさいますのでご注意を。

まあそれもまた楽しいんですけどね～

付き合つてはダメな男

キヤバクラやホストで、『いつかはきっと…』と思ひながら働いている人は現在どの位いるのでしょうか！？

そこそこまでは上り詰めてもトップに立てるのは全体の0・001%位でしょうか。

女性より男性の方が確実性の無い夢を追い掛ける傾向があるので後々大変かもしれませんね。

そして更に大変なのが、そういう男性を好きになつて付き合つている彼女でしょう。

付き合つた当初は普通の恋人同士のようにデートの時は彼氏が払ってくれていた、またはワリカンだつたのが、一緒に暮らし始めたらワタシがデート代や食事代を払うようになつた…水商売人には、よくある話です。

ダメホストやダメウェイターと付き合つと最初は上記の通りですが、段々と要求がエスカレートしていきます。

日々の小遣い（主にギャンブルに消える）の為に彼女は一生懸命水商売を頑張る羽目になる。

挙げ句の果てに適当だが信憑性のあるように聞こえる話でサラ金で金を借りさせる…よくある話です。

そしてサラ金で金を借りさせる事に一度成功すると、美味しい思いをまたしたいと更に借りさせるようになり彼女までが多重債務者の仲間入りをする羽目になるのです（＾＾；）

当然普通の女性ならここまでいくと別れるのが常識ですが、水商売の男は女性の扱い方が上手いので言いくるまれてしまい更に頑張つて苦労する事になります。

男の方はさすがに反省してるだろうと思つでしょうが、相変わらずギャンブルしたり貰つた小遣いで女遊びしていたりする始末です。中には、もつと遊ぶ金が欲しいからと彼女を水商売を辞めさせて風

俗店で働かせるヤツもいます（ここまでいくと既に彼氏と呼べませんね…）

散々利用された後にやっと自分が理不尽な扱いをされてきた事に本当に気付き、別れようとするとあの手この手で引き止めようとし、駄目だと分かると今度は脅しや暴力に訴えたりします。

それでも何とか別れる事に成功しても、こういう輩はその後もしつこく電話やメールでやり直そうと言つたり、ストーカーまがいの事をやつたりします。

要はせっかく手に入れた金づるを手放して自分がどれだけ恵まれた生活をしてきたか気付いただけで愛情とは別次元です。

『ワタシの彼氏、水商売やつてたんだけど今は働かないで家に居て小遣いやら生活費もワタシが出しててさあ。その内頑張るからって言つから今はワタシが頑張ってるんだあ。何かどうしても払わないとヤバい事があつて〇〇万円必要なんだつて頼まれたんだけど、どこの金融なら借りられるかなあ！？』というセリフに身に覚えがあつたり知り合いに居るという人は痛い思いをする前に手を切るか助けてあげて下さいねっ

【田に見えない何か】

水商売に行き着き、水商売を長く生業としていく人間は、表面上は生活の為とか仕方なくなどと言いますが結局のところ水商売が好きだから続いている訳ですね。

皆さん大なり小なりお酒又は酒の席は、お好きでしょう。いつもでも好きな時に好みの女性と飲めるなら男性はキャバクラに高いお金を払って行きませよな！？

女性にしてもいつでも『ワタシの事を理解してくれて優しくしてくれる』と思わせてくれるイケメンの男性が身近に居てくれたら無理してホストクラブには行かないでしょう。

普通に暮らしていたら出会えないようなヒトと出会いたい、そんな体験をしたいが為に人は不夜城の扉を開ける訳ですが、働く側も飲みに来る客も【田に見えない何か】を無意識か意識してかは別にして期待しているから毎日がドキドキのドラマのような気分になれるんだと思います。

【田に見えない何か】は、人それぞれ…あえてそれを周りの人々に口にする事は無いでしょう。あるとすれば、それはアナタがまだ若いという証拠ですっ

ある者は好みの異性を探しに、ある者は一攫千金を求め街灯に引き寄せられる夜の虫の如くネオンの灯りに導かれ今日も出勤・来店する…

普通の生活をしている人には余り有り得ない事が水商売の世界では極々普通に起こります。

僕の周りでもまだ大学生のキャバ嬢が知り合ったお客様に5000万のマンションを自分名義で買つてもらい、客にバレないように売却して彼氏のホストどこかへ消えちゃつたり、現役のスポーツ選手と電撃婚して水商売から足を洗つたなんて話はよくあります。

勿論多くの人がお金が目的で水商売の門を叩く訳ですから、大金を

手にするチャンスは多く転がっています。

『そんなチャンス無いよ。あつたら教えるよ』と思つた方、チャンスを掴むには最低限の努力も必要になります。

順を追つて説明すると、

その1・まずは水商売で働く。（当たり前すぎですねっ）

その2・眞面目に働き、なおかつ店の従業員やお客様に気に入られるよう気遣いを常に心掛ける。

その3：お客様にしろ共に働く従業員にしろ本当に信用を勝ち得ると、お金を得るチャンスが降つてくる。

『ハア～ツ～？』と思いましたか！？それとも成る程と思いましたか！？

僕自身はこの方法で約600万程手に入れました。考え方無しに使つてしましましたが、この位なら僕が言った方法で後は考え方次第で手に入れる事が出来ます。

もう少し詳しく言えば、『一見得にならない事をしておく』というのが大事ですね。

上記に記した事は、僕自身の経験からキャバクラの男子スタッフでもホストでも有効でした。

女性でも同じでしょう。これ以上はお話出来ませんが確かに水商売には【目に見えない何か】を手に入れるチャンスが多く転がっている事は間違いありませんよ

それぞれの店の最後…

2007年も残りわずかになりました。今年も新たな店舗が幾つもオープンし、決して少なくない数の店が消えていった事でしょう。水商売の世界で長い事働いていると自分が働いている店舗が潰れる（閉店する）場面に遭遇する事が、一般的な会社に勤めているより遙かに高い確率であるでしょう。

閉店する理由は店ごとにあって千差万別ですが、その店に愛着があった者にとって心にポツカリ穴があいてしまったかのような感覚に陥ると思います。

僕自身、働いていた店が閉店した事は幸いありませんでしたが辞めてから暫くして閉店した店は4店舗あります。

その内2店舗はキャバクラ、残りの2店舗はホストクラブ、メンズスナックでした。

キャバクラの2店舗が閉店した理由はどうやらも従業員のやる気の低下でした。

ひとつは店内をシメるヤツが居なくなつた事による緊張感の喪失。もうひとつはオーナーのいい加減な経営による従業員の不信感でした。

この2店舗に共通して言えるのは、現場で働く女の口の信頼を経営者側（男子スタッフも含む）が失つた時、その店がそれまでどんなに順調な売上をキープしてきたとしても、その時点から崩壊の序曲が鳴り始めるのです。

どれだけ経営が順調でも決して胡座を搔いてはいけませんね。

ただし、だからといって過剰なやる気を煽る方法もまた従業員の志氣を下げる原因になります。

僕が働いていたホストクラブは新規オープンで1から始まつた店舗でした。

オーナーと店長による共同出資経営で、力関係的にはやはりオーナ

ーの方が上でした。

このオーナー…かなアリアブナイ方で、修羅場をぐぐり抜けた人なら分かると思いますが、目つきがヤバい方でした。

目つきが悪い訳ではありません。眼の奥に宿るモノが直感的にヤバいと感じさせるタイプなのです。

店に僕達ホストの様子を見に来る時には必ず明らかにその筋の方をボディガードのように引き連れ、イタリアから来日しましたみたいなド派手な格好で来ていました。

そうして営業が始まる前にオーナーが僕達にオーナーが客という設定で接客の審査をするのです。接客の仕方（会話、テーブルマナー等）に問題が無ければ、これといって何も言われたりしませんが、上手く接客出来ないとイキなりキれます…（汗）

テーブルもイキなり蹴り飛ばします…

そしてオーナーの小脇には本物の日本刀が置かれているのです…（汗）

僕の目の前で抜いた事はありませんでしたが、僕が店を辞めた後友達が目の前で抜かれ、『なあ拓哉あゝ試し切りさせてくれよ。』と言われ程なくしてその友達も店を辞めました。

こんなオーナーなので売上に対する圧力も凄まじく幹部もバックれ、オープンから1年程であえなく閉店となりました。

オーナーの別経営のキャバクラはその時営業していたのですが、店長が経営していたキャバクラ2店舗が閉店していたので、とても世話になつた方だった為寂しい気分になりました。

水商売は良い時期どん底の時期が短期間で入れ替わるので、どこかでまた頑張つていて欲しいです。

最後にメンズスナックの場合は水商売歴十何年という店長がやつていたお店で常連さんも多かつたのですが、僕も含め店長以外の従業員が定着しなかつたのも原因のひとつですが、一番の原因は健康でした。

長年ホストとして毎日浴びるように飲酒した結果、内臓は既に限界

を超えるボロボロになり、店の営業を断念せざるを得なくなつたのです。

水商売で働く店員さんは誰でも多少内臓の不安はあるでしょう。

若さから余り気にしないかもしませんが肝臓は悪化するとその後更に悪くなる事はあっても良くなる事は無いので気をつけ下さいね

何故かソラい恋愛を繰り返すお水の女性達

水商売を生業とする女性には不思議と付き合つたらソラい思いをする、もしくは今より不幸になると分かつている男を好きになる傾向が強いような気がするのは僕だけでしょうか！？
アナタの周りにこんな女性は居ませんか！？

- ・とりあえずスース姿の男に弱い。

- ・内面より一番は見た目だ。

- ・危険な二オイのするタイプに弱い。

- ・好きになると冷静な判断が出来ず、周りの助言も聞かない。

- ・好きな男が自分の事より最優先。

上記に当てはまつた方…確定的です。

徐々に徐々に不幸な目にあつてゐる筈…

本人も自覚症状はあり友人に『実は彼氏に他に女が居るっぽいんだよね…』と相談したりはしますが、仮に友人が『ホントに…？絶対別れた方がいいよおーっ！！』

と言つても別れません。『ん~、でも優しいし、ワタシが1番好きって言つてくれるしつ』『みたいな事言つて結局ノロケかよつ！！』
という感じで聞く耳持ちません。

こういう女性が別れる時は不幸に疲れた時に別の男を好きになつた時でしょう。

しかしその男もこれまたクセ者な事が殆どですが…

水商売の世界で働いている女性なら周りに上記のような友人が1人は周りにいらっしゃるでしょう。

牧歌的で真面目で安定したサラリーマンより、女好きで水商売をしているが色々トラブルつて借金まみれの黒服を何故か選んでしまう…自分でも分かつていてるのにヤメられない。もうヤメようと思つた時には周りからチヤホヤされた二十代を過ぎ、微妙な妥協が入り始め気がつけば、『こんな筈じやなかつたのに…』と嘆く毎日…

僕は、そんな女性をたくさん見てきました。

『どうすればいいの！？』と思った方、どうにかしたいなら先ずは水商売を辞めて下さい。

そして飲みにも行かないで下さい。お酒が入った席での色恋には眞の愛情は存在しないと僕は思っています。

あるいは欲望：酒は理性を書き消し本能を増大させるモノですから。今でも水商売時代の知り合いのコ達は、先に述べたような事を繰り返しています。

そして意味の無い相談、そして別れまた同じ事の繰り返し…たまに『コイツ不幸を快感に感じてるのか！？』と思う事がある程に。そして水商売から離れ、夜の街に飲みに行かなくなつたコ達は夜の世界以外の場所で知り合つた彼氏と穏やかな生活を送っています。不幸やツラい恋愛に快感を覚える訳では無い女性なら、一度お水の世界から離れて幸せを探してみるのは如何でしょう！？

そう思つても中々離れられないのが水商売なんですけれどねっ

やり過ぎ注意報

クリスマスも過ぎ去り、もうすぐ2008年がやって参ります。僕が水商売の世界から完全に足を洗つてから2年弱・約6年程いろんな街で働いてみました。

23区内から23区外、埼玉県までキャバクラ・ホストクラブ・サークル・フィリピンパブ etc..

良い事もあれば嫌な事も沢山あります。自分の肌に合わない店も沢山ありました。

不思議と自分の肌に合う店というのは、働き始めから居心地が良く、波に乗つて仕事が出来る事が多く反対に肌に合わない店は、何だか居心地が悪く内側から力が湧いてこない場合が殆どで、よく1日働いては『ここにはダメだな。』と内心思い、『また明日お願ひしますっ！！』と言いながらバックれる事も多々ありました。

まだホストになりたての事、その店がオープンするまで1ヶ月あり、そこで仲良くなつた同僚とツルんでオープンするまでの間他店に体験入店をしによく行つていました。（体験入店すると日当が数千円貰えるので）

この時の経験が後に1日働いてその店を判断する契機になつたのですが、やり過ぎると不味い事も起るんですね。

僕が在籍していた店は山手線のある街で、よく新宿に体験入店していました。

流れ的に体験入店した後はきちんとその店に入店して新人として働くものなんですが、僕達の場合ちゃんと在籍している店が既にあるので『明日から宜しくお願ひしますっ』と言いながら当然行かない訳です。

当時ホストになりたての僕達には、ホストの横の繋がりなど微塵も知らないので体験入店してはバックレを何度も繰り返し1ヶ月が経過し、自分の在籍している店がオープンする日を迎えたのです。

ホストクラブのオープンというのは、ホストのお客も来店しますが、オーナーや店長の知人や友人がご挨拶に多数来店するんですね。違う街のオーナーも挨拶に来店される訳です。

すると、やっぱり会つちゃうんですつ 体験入店してバックレた店のオーナーに：

『ヤベエ：オーナーと仲良いのかよつバレたら殺されるつー！』 僕達はそう確信し、その体験入店先のオーナーが帰るまでなるべく顔が見えないよう死角になる席に行つたりしてハラハラドキドキしながらやり過ごした事を今でも覚えています。

それ以来体験入店荒らしは店に在籍している間はヤメました。

水商売の世界を渡り歩いていると、こういつた『あつー！』という会いたくない出会いをする事が予想もしない場面で起こります。よくあるのが店のコと風紀してバックレた後や店の金に手をつけてバックレた後に、違う場所で働いていて捕まるケースです。

僕の友人も僕と会つていて目の前で5～6人の男に連れていかれた事もあり、その後1度メールがあつた後連絡が取れなくなりました。大丈夫だろつ バレないだろつ と何か後ろめたい事をした後、気楽にまた夜の世界で働いていると、ある日突然さらわれる事もあるので皆さん気をつけて下さいねつ

お水な底辺の極限状態

水商売は格差社会…ブランド物に身を固め、大金を手にしてする者もいれば毎日食つにも困る極貧生活をしている者もいます。

かく言う僕自身も、ホストになりたての頃、そんな経験を周りの同僚と共にしたのを思い出します。

勤める店がまだオープンする日が未定で寮には入ったはいいが、オープントするまで暮らしていく金が無い…（泣）

『ちょっとも金無いの！？』と思われるかもしませんが、水商売で面接してすぐ寮に入るような輩に金に余裕があるヤツなんて殆ど居ません。

持つていっても雀の涙程度のもんです。

僕の場合、寮に入る前に勤めていたキャバクラで貰った給料を殆ど使い果たし、ギリギリの状況でした。

幸いに僕が在籍した店の店長が、キャバクラを2店舗経営していたのでそのキャバクラの客引きをすれば日払いをしてくれるという事でホツとしました。

日当は5千円位だったと思いますが、無いよりマシですし僕の場合はキャバクラで働いていた時には毎日客引きに路上に出ていたので抵抗無く引き受けました。

可哀相だったのは客引き経験の無い同僚達でした。

今まで一度も男性客に声も掛けた事も無いヤツがいきなり上手い誘い文句を言える筈もありません。

しかもホストが目的で来たのにキャバクラの客引きなんて、やる気が出る訳も無く1日客引きして連れていけた客ゼロなんて当たり前でした。

僕もアドバイスはしましたが結局の所、客引きは本人のやる気次第なので引けないヤツはやっぱり引けないです。

そのキャバクラでは客を連れて来れなくとも日払いをさせてくれま

した。

僕の場合は客引きする以上、最低5組以上は連れていく気持ちでやつていましたし事実そうしてました。

けれどキヤバクラの経験も客引きの経験も無い他の同僚は『連れて来れなくともしょうがないよなつ』位の感じで日払いしてもらつてたんです。

僕は内心コイツ等すぐえ神経してるなつと思い、また同じ日当貰つててこつちは夕方過ぎから深夜まで必死に客引きしてゐるにお前等は、どこで何してんの！？という気持ちでした。

まあ自分は自分と気持ちを切り替えてやればいいやと客引きしてましたが、やがて同僚達も客引き出来ないのに日払いだけ貰いに行つて、その店の店長に渋い顔をされる事が気不味くなり、段々と1人減り2人減りしていき最後には僕1人だけになつてしましました。寮に居るヤツで客引きしているのは僕とオーナーのキヤバクラの方で客引きしていたカズヤという同僚の2人だけになり寮も寂しくなりました。

そのカズヤの方の店は客引きゼロだと日当が無しなので顔を見ればゼロかどうか分かりました。同僚という事と同じ部屋で暮らす者同士として、金が無い時は松屋の牛丼やタバコをおごつたりしてましたが、あんまり甘えられるところちも頭に來るので、『お前毎日俺に頼るけど、やる気出して客引きしてんの！？確かに俺も客引き出来ない日もあつたけど1日あつたかどうかだよつ！－氣合い入れてやればそんなに毎日ゼロなんて無い筈だろつ！－』日頃溜まつていた思いがおこつて貰えるのが当たり前みたいなカズヤの態度で爆発してしまいました。

僕は普段はめったにキレません。よほどナメた態度や理不尽な事が無い限り…そんな僕がいきなりキレたので、カズヤはびっくりしてその日から暫くは僕に頼らず客引き出来ない日は僕が寮に戻る前に布団にくるまり寝ていました。

暫くして流石に可哀相に思い、客引きが終わった後松屋に連れて行

つたりしましたが、ホストクラブのオープンする10日前から客引きで働けなくなってしまったのです。

理由は今でも分かりませんが、僕がキャバクラでマネージャーをしていた経験から店の営業方針に客引きさせてもらつてた店の店長に意見していたのがいけなかつたのかもしません。

相手にしたらオーナーの命令で客引きさせてやつてるのに、営業方針にまで口出すなと思われても仕方ない事ですから…

僕は日払いした金をマンガ喫茶に行つたり喫茶店に行つたり買い物などで殆ど使つていたので『さて、どうしよう…タバコすら買えないよ…』という状態にすぐになつてしましました。

カズヤも期待出来る訳もなく僕達はマジで困り果てました。

とりあえずした事は街に出て道端に落ちているシケモクを拾う事。汚いと思われるでしょうが、僕は飯は2日位食わなくとも我慢出来ましたがタバコは無理ですっ！

タバコとコーヒー無しでは生きていけません（笑）

カズヤも同意見で僕達はシケモクを求め、なるべく人とすれ違わない場所中心に拾い集め、それを寮に持ち帰りフィルターの部分をハサミで3分の2近く切つて吸つていました。

その他にも寮の冷蔵庫にあつたいつからあつたのか分からない怪しい冷凍イカを、これまたいつからあつたか分からぬ調味料で味付けし『とりあえず火を通せば死にはしねえだろっ』と半ば強制的にポジティブに考え2人で食べたりしました。

他にもオープンまでの数日を乗り切る為に色々しましたが、ここで書くのはちょっと…なので書くのは控えさせて頂きますm（u—u）

m

そんな経験から僕は食事にこだわりはありません。

好きな物があればそれにこした事はありませんが、無ければ別に小麦粉と少しの調味料だけで全然平気です。

僕はコレを【小麦粉ときとき】と呼んでよく金が無い時食べてましたが、一緒に暮らしていた彼女には不評でした（笑）

まあこんな経験は普通はないですし、する必要無いので皆さんには
ピンと来ないかもしませんが、人間、極限状態を経験すると多少
の事は平気になるので今苦しんでいる人がもしもコレを見ていたら、
それはアナタをタフにしてくれる経験なので頑張つて下さいっ(*
^-^*)

見栄をきり間違えたホストの末路【前編】

見栄をきる…水商売の世界では時には必要な行為ですが、見栄の切り方を間違えると自分のクビを絞める事になります。

新人ホストにはありがちな事なんですが、仲間に他のヤツより優位な立場にいたいと思い見栄を張つてしまつ…

これは前回書いた話に登場したカズヤの例です。

僕とは違うカズヤは僕達と会う前からホストをしていました。

ホスト未経験の僕達は店がオープンするまでの間に、なんとか1からお客様を見つけなければならぬ為に昼間から夕方の間、私服で店の仲間達とナンパを装つて女の口達に声を掛けっていました。

ナンパに成功して仲良くなつたはいいがホストだとは言えずに『またねっ』とメアドだけ聞いてサヨナラしていました。

当時はまだテレビでホストの事を報じたりはしていなかつた為、イメージも今より悪く言いにくいつたらありませんでした(- - -)そんな事を毎日やつていたのですが、カズヤはとすると仲間と行動は共にするのですが、ナンパには参加せず後ろの方で僕等の行動を半笑いで傍観しているだけでナンパには加わりませんでした。

『ああ～つ今日も声掛けた口達とカラオケには行つたけど、結局ホストだつて言えなかつたなあ…』

日に日にホストクラブのオープニングが迫る中、僕等の中でお客になつてくれる口を獲得したヤツはゼロでした… (〒ー〒)

そんな時、少し後ろを歩いているカズヤは自慢気に、『俺は前の店のお客が居るから平気だけどねっ』と僕等全員に向けて語り始めるので、羨ましい気持ち半分ムカつき半分でとりあえず知り合つて間もないから聞いていました。

カズヤの自慢話はオープンが迫るにつれ、どんどんエスカレートしていく外でも寮の部屋に居る時もある」とこ始まるよつになり、そういうウザい存在になつっていました… (- " -)

ただウザいながらもカズヤは僕が店に入店して最初に知り合ったヤツでこの後、寮に居た他の仲間達が消えてゆく中寮で2人きりになる事も多く、邪険には出来なかつたので、自慢話をされでは『ヘエ～いいなあつ』などと黙つて持ち上げてやつっていました。

オープンまで一週間、この頃になると夜オープン予定の店舗にホスト達が集められ連日色々なミーティングが経営者兼店長のもと行われ始め、コールやボトルの栓抜きの練習から接客のイロハを勉強していく、オープン3日前…もうすぐオープンという中でみんなのテンションショーンもかなり上がつていました。

そしてその日のミーティングも終わりに近づきオーナーと店長から締めの言葉を頂いて解散という時に、オーナーが店長に何やら耳元で囁いています。

オーナーの話を店長が聞き終わつた後、店長が僕等に向かつて話しがれました。

『今、オーナーから知りたいんだけどと言われたんだが、この中でオープン当日にお客が来てくれる事が決定しているヤツは手を上げてくれるか。』

その瞬間その場の空気は重たくなり皆、ホスト同士お互いの顔を見やりました。

少しの沈黙の後、手を上げたのは2、3人だったと思います。

『ホストつてもつと客持つてるでしょ！？』と思われるでしょうが、僕がその時入店した店は現在では殆どありませんが本当に未経験のホストばかりで経験者だというヤツは40人中5人だけでした。そして客が来てくれるヤツは2、3人…

それを聞いた店長やオーナーは暫く無言の後でオーナーがポツリと、『駄目だなこりやあ…』

その場に張り詰めた空気が立ちこめ、皆無言のまま固まつていると…

『ガシヤアアーンツツ！…！』

突然の轟音にビックリして音のした方を見やると、店長が無言で腕組みをしながらセッティングがしてあつた目の前のテーブルを蹴り

倒した姿だったので、『ヤベH…普段温厚で優しい店長がマジでキレてる…』と思いつの後どうなるのか気が気ではありませんでした。

【後編へ続く。】

見栄をきり間違えたホストの末路【中編】

店長は膝に手をつき、少し前のめりになりながら、『テメエ等ホスト舐めてんのかあつ！…』のままじやあ店がオープンしたつすぐ潰れるよ…！ここでホストやりてえなら死ぬ気でやれや…！出来ねえなら今すぐ辞めろつ…！…』

僕等は事の重大さにオープン直前になつてやつと気付き、互いの顔も見れないまま凍りついていると、『どうすんだよ…！…やるのかやらねーのかはつきり言えやつ…！…』

店長のその言葉で一同全員が『やります…！…やらせて下せこつ…！…』

と腹から声を出し答え皆、立つて店長やオーナーに頭を下げて頼みました。

今更ながら思つた事は、きつと店長はキレたら人を殺しそうなオーナーがキレる前に自分がキレる事である意味僕等の事を守ってくれたんじやないかと店長に色々と面倒を見てもうつた自分は勝手にそう思つています。

『お前等今日から3日間、寝ないで密搾まえろ！…搾まえられるまでミーティングには出なくていいつ分かったなあつ…！…分かつたら今からキャッチ行つてこい…！…』

僕等は店長に言われるままに夜の街へと蝙蝠のように散りました。大体仲のいいホスト数人づつに分かれ、お密争奪戦が始まつたのです。

僕は、忍と春樹と冬夜^{トウヤ}という最近寮に入つて仲良くなつたヤツらと一緒にキヤツチを始めよつとしたのですが、なかなか最初の一発目が掛けられない…

スース姿でのキヤツチがホストですよつて言つて歩いているみたいで嫌だつたのと4人共に未経験者だったので自ずとリーダーシップをとつてくれるヤツが居らず何だかんだとブラブラしながら闇雲に時間だけが過ぎていきました…（Ｔ－Ｔ）

そういうしてゐ間に他店のホスト達もキャッチに出て来て益々ヤバい状況に陥り出し、『マズいつ…』と思つた僕は思わずみんなに、『居酒屋行かない！？』と半笑いで言つてしましました。

半分現実逃避です（笑）キヤバクラ時代にスカウトが上手くいかない時の癖がとつたにしてしまひ、『まづっ！…さつき店で店長にキレられて死ぬ氣でやるつて言つた後じやん。みんなふざけてる場合じゃねーだろっ！…つてキレるよな…』

そう言つた事を後悔し、そつとみんなの顔を見やると『行つちゃいますか？』と3人共少し口おやじのような顔で答え、『あんなかコイツ等と末永く上手くやつていけそつ』と同じ匂いを感じその日は結局朝まで居酒屋でクダ撒いてましたつ（・。・。）

見栄をきつ間違えたホストの末路【後編】（前書き）

後編だけ長くなり過ぎてしましました。 読んで頂てこの監修を申し訳ありません（^-^）

見栄をきり間違えたホストの末路【後編】

なんと僕達は次の日もマンガ喫茶のナイトパックで朝までキヤッチの時間、マンガを読み続けとうとうオープンまでラスト1日…（：）！

きっと俺らみんな絶対夏休みの宿題31日までやらないヤツの集まりだな…と軽くそんな事を考えながら半分以上諦めモードで明日までに寮パックしようかなと1人寮の部屋で考えていると、常に施錠してないドアが開け放たれ、『おはよー』ございま～すつ 今日こそ頑張りますかあつ 』と言いながら忍達が入つて来た時、『ああ、俺よりお氣楽バカが居て良かつた 』と心底思い元気を貰いました。
＊余談ですが、忍達とは同期ですが年が僕が他の3人より3つ上だったのと、入店日が若干早かつた為に敬語で接してくれましたつ（# ^ - ^ #）

そんな3人を見て少しやる気が出た僕は4人でオープン前、最後のキヤッチに乗り出しましたっ！

大きな街なので平日だろうが街ゆく人はウジヤウジヤいます。

いつもならアレはウザそう、こつちはキツそうなどと能書きをタレて動かないおバカ4人組ですが、今日ばかりはやらなきや明日我が身がどうなるのかマジで分からぬので出だしから皆、軽い身のこなしでぎこちない也に声を掛けます。

キヤッチを始めてから2時間…まだ成功はしていませんでしたが、声を掛けるという行為が皆に自信を湧き上がらせ必ず成功するような雰囲気が滲み出ていました。

そしてそれから僅か30分後、忍と春樹が声を掛けた2人組の女の2達と意気投合しオープン日には無理だが違う日に来店してくれる事になつたのです。

僕は少し離れた所で細道の方を見つめっていました。

その方向には何店舗か風俗店があつたので、もしかしたらと思い女

性が歩いて来るのを待ちました。

すると細道から白いパンツを履いた女性が歩いて来たので、『コレは逃せないっ！…』と思つた瞬間既に僕は動き女性になるべく自然体で話し掛けた。

声を掛けた瞬間はビックリしてましたが話しているうちに盛り上がり、お店のオープン日に来店してくれる事になり、ゆるこ浜口バリに『とつたどおおーつ！…』と叫びたい程気分が良かつたのと、ホツとしたのを覚えています。この後成果は上がりませんでしたが、僕等は意気揚々と寮に引き上げ祝杯をあげようと歩いていると、駅前の超有名公園を見覚えのある男がウロウロしていました。

カズヤです。『アイツ一人で何やつてんだ！？』と訝しがり様子を見ていると、女性がカズヤの近くを通り、アタフタしながら女性に近づこうとし、女性が歩いて行つてしまつたガクッとうなだれ、また女性が通るとアタフタ…そしてうなだれを繰り返していました。

『アレ！？アイツ、寄る筈なのになんでキヤッチしてんだ！？』少しの間考え、忍達を見やりました。

『ひょっとしたらカズヤさん、あんなに自慢してたけど寄なんていないんじゃないですかあーつ』

忍の悪意のこもつた一言に一同にんまりとH口い顔をし、『ザマアミロだなつ』

『アホつすねつ』

言いたい放題カズヤの文句が吹き出ました。

散々客と食事だデートだグッチのスープ買つてもううだ自慢してたのが全部フカシだと分かり、最初は可笑しかつたのが段々怒りがこみ上げ出し、軽くぶつ飛ばしたくなりました。

嘘の自慢話を聞かされた時間を返せと…！

僕等はカズヤの死角からそつと近づき『よおつ何してんのー！？』と、わざとらしく声を掛けました。

カズヤは本気でビックリした様子で、軽くオウつと言つたつきりだんまりでした。

僕は笑いを堪えながら、『どうしたの…？落とし物でもしたの…？』と尋ね、カズヤの出方を待ちました。

『んつ！？いや、ここで客の女と待ち合わせしてんだけどちょっと遅れるみたいで待ってんだよねつ』

それを聞いた僕はこめかみがピクピクし、一瞬阿修羅面怒りになりそうなのをググッと堪え、もう少しだけこの茶番に付き合つてやるうと

『へえ～つそ～なんだついいねえ～つ』

と合わせてやると、客なんていないのバレバレなのに、この期に及んでまたもや嘘自慢が始まつたのです…（＼：＼）

『今日どうしても会いたいっていうからわざわざ待つてやってんのに自分が遅れるつじづよ！？何か買わせねえとワリ合わねえよお～つ』

へえ～と聞きながら何か頭にきすぎて軽く意識が飛びそでしたが、忍達の過剰なヨイシヨで我を取り戻し、もう少しだけ付き合つてやるよつ！…と笑顔で聞いていると、

『明日は何のボトル入れさせようかなあ～つ レミーでも入れてもらおつかなあ～つ』

も～うおダメツ…！我慢の限界を一瞬で超えた僕はいきなりカズヤに向かつてメンチを切り、軽く複式呼吸でキレました。

『お前さあつ俺ら隠れて公園でお前の行動ちょつくら見てたけどよ。ずっとキヤツチしてたべ！？客と待ち合わせしてるヤツが何でキヤツチしてんだよつ！…ああつゝ嘘ばっか言つてんじゃねえぞテメエツ！…！』

いきなり確信を突かれたのとキレられたのでカズヤは後ろにのけぞり、つぶらな目を目一杯広げて固まりました。

そんな姿を見ても僕の怒りは収まる筈もなく続け様に怒りをぶつけまくります。

『大体テメエ、客にいろんなモン買つて貰うつつつてけど一度も言った物持つて帰つてねえじゃねえかよおつ…！』

そして更に、

『客いのなら俺におうつてもらわなくて飯代やらタバコ代位どうにでもなんじやねえの！？違うかあつ』

ちょっとびりヒートアップしてしまい公園内が微妙な空気になつてしましましたが、ここまで言わてもカズヤは『相手の都合が合わなくて…』やら『貰つたりするけど、いつもじゃないから…』とのたまつので襟首を掴み上げ

『テメエ、明日客来なかつたら覚えとけよ…』

と凄むと、カズヤはいきなり態度を180度変え、ただひたすら謝り続けたのです。（注：僕は普段本当に殆どキレません。ただこの時のカズヤにはいきなりキレさせるだけのモノが有り余るくらいありましたm（＿＿）m）

この一件以来カズヤの立場はオオカミ少年のようになり、後輩にもナメられ、当然客も呼べなければヘルプも出来ず、挙げ句の果てに寮の仲間の荷物を持ち逃げしたのです。

当然僕等はカズヤの居場所を突き止め、新宿まで行きマックに上手い事言つて呼び出し、持ち逃げされたヤツとカズヤのやり取りを斜め後ろの席からバリューセットを食べつつ見させて頂きましたつ

この後、カズヤには何度も僕等の復讐が待ち受けている訳ですが、ここではちょっと…なので書くのは控えますm（＿＿）m

ホストの世界では、こういう見栄の切り方は百害はあっても得になる事は全く無いので新人ホストの皆さんは気をつけ下さいねつ

末永いお付き合いが出来る店

新年明けましておめでとうございます

水商売の世界でも元旦といふのは殆どのお店が休みになります。

男子スタッフにとつては年に何度かしかない連休：僕の場合、キャバクラで働いていた頃正月休みに何をしていたかといふと、結局キャバクラに行つてしまつたんですけどね。

まあ半分先輩の接待でしたが、元日に営業しているキャバクラ…思い出すのはあめでたい日なのに、何故か店もお客様も垢抜けない。お店で働く女の「達も当然少なくテーブルについた女の「達は、『元旦なのに何でワタシ働いてるんだ…』」といふ思いが見ていくつちにひしひしと伝わってきます。

こつちもこつちで何で元日からキャバクラ来てんだよと、来店しておいて酒を飲みながら思つてゐる始末…

当然お互いこんななんじや楽しい筈もなく飲んでるのに余計に酔いが覚めたのを覚えています。

キャバクラに勤めている男子スタッフでキャバクラに飲みに行く者は、2つのタイプに分かれます。

休みの日には殆どキャバクラに飲みに行き、キャバクラの裏も表も知りつくしているのにキャバ嬢を指名している真性のキャバクラ好きと、他店のキャバクラの良い所悪い所を自分の店と比べ研究しているタイプです。

前者はキャバクラで働いた給料をキャバクラで浪費し、後者は自己の向上の為、店の向上の為給料を使います。当然、従業員として前者と後者には明確な差があり、後者が多い店は大概活気があり店の女の「達もやる気があります。

問題は前者が多い店で、仮に店長以外みんなが前者だとその店は長くは保たないでしょう…

『それがどうしたの…?』と思われた方、どうもしないんです(=)

|
|
m

ただ貴方の飲みに行つてゐる店が前者の店か、後者の店かで長い付き合いになるか短い付き合いになるかだけです。

働く女の口にとつては、未永く働ける店かいつ潰れるか分からない
店かというだけです。

ただお客様にとっても働く女の「」にとっても長く付き合える店の方
がいいに決まっていますよね！？

キバクラ激戦区ではない地域なら生き残れる事もありますが、激戦区ではほぼ100%消え去ります。

『まあ そうだよなあ～つでも密には、そんな事分からぬいし…』 と思つた方、潰れない店は店内が満席なのは当たり前ですが、店長が

常に第一線で動いてます。店長の動きを見てれば、『ああ、この店は長く付き合えるな。』と分かる訳です。

それと雨の日、外看板がママに拭かれて綺麗になつてゐるかどうかで店のレベルが計れるので、新しく飲みに行くキャバクラを探す時に、雨が降つていたらネオン輝く外看板を見て回つて下さい。ひとりきわ綺麗にしてあるキャバクラがあつたら、その店は貴方を満足させてくれる店に間違いないでしょう。

ウェイターってどうよー？

キャバクラに飲みに行っている方々の中には、一度働いてみたいなと思われている方もいると思います。

水商売に興味があるんだけどまだちょっと踏み込めない…という方もおられるでしょう。

ウェイターってどうなんだろう…?…と。

給料はいいけど仕事はキツくないのかな！？等気になる事を挙げたらキリが無いと思います。

そういう人に分かり易く新人ウェイターの仕事を僕の経験に基づいて説明したいと思います。

新人ウェイターが、まず最初に覚える事…店によつて違いますが、接客用語ではないでしょうか。

『いらっしゃいませ』

『ありがとうございます』

など、お客様に失礼のない言葉使いをまずは覚え、次に店内・店外清掃でしょう。

『掃除なんて楽じゃんつ』と考えたアナタ：キャバクラの掃除はかなありキツいです…（・。・）

店の規模や指導する先輩によってはウェイター業務をする前に掃除だけでヘロヘロになつてしまふ程に。

面接に行つた時に店内を見渡して、カガミ張りの面積が多くつたり光るモノが多い店は当然掃除もキツくなるので、チェックしどくと良いでしょう。掃除を覚えたら次はお店の1日の流れを先輩に付いて見て回り、その後自分が先輩の真似をする訳ですがこの辺までは問題無くスムーズにいくと思います。

そして働く店が繁盛店でなければ、その後も大した失敗も無く働いていけるでしょう（^ - ^）

問題はあなたが選んだ店が繁盛店だった場合…そして店長がイケイ

ケだつた場合、多分過酷なウェイター生活がスタートする筈。

僕が初めて水商売の世界で働いたキャバクラの店長は、絵に描いた
イケイケ店長でした…（・。・・）

見た目もですが、とてもせっかちで短期で喧嘩っぱやい人で、いろ
んな意味で凄かったです。

『ウェイター業務は実際に店がオープンしてから実戦で覚える』と
いう店長でしたから、オープンまで2週間あったのに何も教えても
らえはせず、オープンしてから地獄の忙しさの中で覚えさせられま
した。

毎日掃除や在庫管理その他諸々…何時に仕事が終わるのか分からず、
1日15～16時間労働で休み無し…

2ヶ月で体重が20キロ落ちたのですから今考へても恐ろしいです
‥（――）

働くくならちゃんと定休日があるお店を選びましょう。

そして繁盛店よりも、これから伸びていきそうなお店の方が体も徐
々に慣れていくので、下見してみるのが良いと思います。
そして営業時間がなるべく短いお店。

キャバクラは勤務時間が只でさえ長いのに、残業代なんて無いので
時間もチェックしてからお店を選びましょう。

キャバクラは働きによって基本給が一年で10万上がるの（店に
りますが）頑張ってみる価値はあると思いますよ

正月明けのよくある問題

お久しぶりですっ 正月、色々と忙しく執筆が滞ってしまいました
m (一一) m

街もすっかり正月気分も抜けでいつも通りの日常に戻った感じです。正月明けというのは、とかく仕事に対する気が抜けがちですが、水商売でも同じ事が言えます。

よくあるのが新年からお店に出勤してこないというケース。正月休みですっかりやる気が失せ、お店での嫌な記憶も相まって行きたくなくなり、『最初は1日だけ休んじゃおつ』という軽い気持ちから始まつて結果バツクレてしまつ…
経験ある人もおられるでしょう。

そういう僕も勿論ありますっ サパーに勤めていた時の話ですが、仕事も上手くいっていたし従業員の仲も良く、不満は給料が安いくらいで特になかつたのですが正月休み中、彼女と遊んでいる内にやる気がすっかり失せ結局1日も出る事無く辞めてしまひました(泣)まあ給料安かつたので後悔はしていませんが、その他にも正月明けというのは色々な事が起こり易いのです。

これはある街の水商売を手広くやる会社の話ですが、2年前の年末近い時期にスナックの若いママが、従業員の若い男とバツクレてしまい急遽新たなお店をオープンさせる事になりました。

新しいお店のコンセプトは【美味しい料理をメインとした居酒屋系スナック】で、店長には調理師免許を持つ中年男性が抜擢されました。

その男性はあくまで料理人であつて水商売の経験は無いので、女性スタッフがホローする体制でオープンしました。

オープンして暫くは料理も美味しく低料金で可愛い女の口も居るで、そこそこ繁盛していたのですが徐々に雲行きが怪しくなつてきました。

ケチで有名なオーナーが経費削減の為、従業員を増やそうとせず、その男性とウエイトレス兼接客の女の口の計2人だけで営業していました。

料理が出来るのは当然その男性だけですから毎から明け方まで、買出し・仕込み・調理・片付けと毎日こなさなければならず、新しい従業員が増える兆しもありませんでした。

従業員の女の口が男性を気遣い大丈夫ですか！？と聞くと、『大丈夫大丈夫っ』と笑顔で答えていたそうですが、正月も明けて新年始めての営業日。

夕方過ぎにお店に女の口が出勤すると、いつもはもう開いている筈のシャッターが閉まっています。

『あれっ！？変だなあ…』と女の口が男性に電話してみたのですが、電源が切れていて連絡が取れず、仕方なく系列店のスタッフに連絡すると…

『ああ実は、〇〇さん店の金持つて消えちゃってさあ…家にも行つたんだけど荷物も無くて今探してるんだよね。』

女の口はいろんな意味でビックリし、その日は帰宅する事になったのです。

まあ端から見ても長くは保たない感じですが、経費をケチったオーナーは結果、ひと月分の売上を持ち逃げされて大損する事になりました。

年末年始は色々トラブルが起こり易いので皆さん注意を

新成人の大失敗

今日は成人の日ですね

今年も今日の夜から朝方にかけて羽目を外した新成人達が、繁華街にわんさか群がることでしょう。

成人式など当事者にとつては、『これからは大人として恥ずかしくない行動をつ！』なんて考える筈も無く、『わあ～い 堂々と酒が飲めるつ』など自分に都合の良い事ばかり考えるモノです。成人の日には、当然キバクラにも新たに成人した新成人達が真新しいースーツ姿で少し照れながら来店します。

『いらっしゃいませ！』と言いながら、内心キバクラ来るよりナンパ行けよつ（笑）と思いつつ笑顔でテーブルに案内し、ぱぱっとシステムを説明する訳ですが、成人して初めて来たキバクラでやつちやうヤツが必ず居ます。若いヤツ程、酒が強い事がエラいかのような勘違いをしてしまいがちで、限界を超えているにも関わらず無理して飲み続ける事が多々あります。

よくあるパターンが初めて来たキバクラで店の女の「を好きになり、良いところを見せようとしてガンガン飲むヤツです。

『わあ お酒強いねつ』

なんて好きになつたキバ嬢に言われて、『俺つ酒強いからさつ』なんて調子乗つて更にガンガン飲む姿を横目で見ながら、『その口、俺と付き合つてんだけどねつ』と、軽く優越感に浸りながらまだまだ青い新成人を見てたりしましたつ（笑）

新成人達が来店してから2時間程経過した頃、僕の付き合つてたキバ嬢に惚れた、ひときわはしやいでた新成人がいきなり下を向いて無言になり、顔色も心なしか青白く見えました。

僕はそのテーブルから2、3メートル離れた場所から見ているとテーブルの女のコ達がザワザワしだし、異様な雰囲気が伝わってきたので近くに行こうとした時に1人のコが、

『すいませえ～んつバケツ下さ～い！お密さんが吐きそりだつて
つ～！』

マジかよっ！？僕は急いで掃除用具入れの中からバケツを取り出し、
そのテーブルに向かつた瞬間、青白くなつた新成人がムクツと立ち
上がり下を向いたかと思ったその時、眼下のテーブル目掛けてナイ
アガラの滝のようなゲロを発射したのですつ（…）！！

一瞬にして楽しい筈のテーブルが、スプラッター映画のワンシーン
と化し、吐いた新成人はトイレに1時間以上閉じこもつていたので
す：

そいつ等が帰つた後、ゲロの後始末をしながら、『絶対出禁だつ！
！』とキレていましたが、次の日ゲロを吐いた新成人が友達と2人
で菓子折りを持って謝りに来たので、意外に礼儀正しいヤツだなつ
と思い、『またいらして下さいねつ』と笑顔で言つと、ホツとし
た表情を浮かべて帰つていきました。

すると次の日、本当に飲みに来店しに來たので、『若いつて強いな
…』としみじみ思いました（汗）

バレンタインデーそしてホワイトデー…

もつ少しするとバレンタインデーがやつてきます。

キヤバクラの3大イベントのひとつですから、お店の方も色々な企画を考えているでしょうし、キヤバクラに田舎での女の口が居る方々は、2月に入るとソワソワしだしていくでしょう…

お店で働いている女の口達は、2パターんに分かれると思います。売れっ子のキヤバ嬢ならその日の為に入念な営業（自然な感じを装いつつ）を行い、客のレベルによつて買ひ分けたチョコを紙袋に詰め予めチョコは店に用意しておいて同伴出勤でもして来るでしょうし、お客様が余り呼べない女の口達は、『ああ～ヘルプかつたるいなあ…』と思いながら、その日を耐え忍ぶことでしょう。

キヤバクラで男子スタッフとして働いていた身としては、『バレンタインデーにキヤバクラ来てチョコ貰つて嬉しいの…?』という感じでしたが、チョコを貰つているお客様を観察してみると、照れくさそうにしながらも笑顔で受け取つている方が多いので、『ああ、やっぱり嬉しいんだ…』と、ちよつぴりキヤバクラのバレンタインデーの裏側を知つておられるだけに切なくなりました…（泣）

お客様にとってバレンタインデーが終わると翌日、恐怖のホワイトデーがやつてきます。

バレンタインのお返しに高級ブランド物を客にねだる女の口達をいつたいどれだけ見てきたことか… (*・'・)=

そしてそれに応える為に、余りリッチではないお客様が食費すらも切り詰め何とか要求されたブランド物のバッグを買って女の口にプレゼントしても、しばらくすると質屋に売られ、貰つた客にバレないように同じバッグの偽物をネットオークションで貰つておく…そんな事を沢山見てきました(- 。 -)

もしキヤバクラの田舎での女の口にブランド物をねだられたら、『ああ～きっと買ってあげても少ししたら質屋に売られるんだどうな

あ…』と、ある程度覚悟しておきましょう。

その「がバッグをずっと持っていたとしても、違うお客様に同じバッグをおねだりしている事もよくあるパターンなので余り安心出来ません。

キャバ嬢に本気になつて生活苦に陥り、行方が分からなくなつた人達を色々見てきたので余りのめり込まないようにしておきましょう。中には目当ての女のコと結婚したという人達もいますが、そういう人達は大概遊び慣れた人なので、客観的にお人好しで受け身の方は力モラれ易いので十分注意して下さいねっ

人間、本当に愛しい人には別にブランド物でなく何を貰つても嬉しいものですから。

という訳ですので、バレンタインデーにはご注意をつ（ - - ^ * ）

史上最悪のトイレ掃除…（前書き）

食事時には読まなこでトモニタモニタモニタモニ

史上最悪のトイレ掃除…

前々回、新成人の失敗を書きましたが何も新成人だけが夜のお店で失敗する訳ではありません。

老若男女を問わず酒と異性が存在する場では、誰もがひとつは『あちやーつっ』と思う経験があるものです。

僕自身も店の先輩や同僚と飲みに行き、飲み比べで記憶が無くなり、気付くと勤務先の店の前に車ごと置き去りにされオーナーに発見され気まずい思いをした事があります（その時、飲み比べをした先輩も違う場所で車の中でドア開けっ放しで半分死んでました… 笑）まあその位ならかわいいものですが、中には洒落で済ませられないようなデンジャラスなケースに出くわす事も飲み屋の世界では、たまにあります。

これは僕が池袋の大型店舗で働いていた時の話です。僕はキャバクラの従業員を辞めてホストを半年程した後、またキャバクラで働くことを想い老舗の店で働く事になりました。

半年のブランクはあっても体は覚えているもので、ウェイター業務をこなす事は簡単でした。

『これなら全然大丈夫だなっ』と気分良く仕事をしていました。フロアを観察してみると、接客している女性は全体的に年齢層が高く、中には還暦を迎えていそうな人や、『んつ！？オカマ？？』と思える人までいて、かなり個性的で必然的にお客さんも年齢層が高めでした。

トイレの通路の近くにキッチンからフードが出てくるカウンターがあり、休憩をもらった僕はそこでタバコを吸いながら厨房の人と談笑していると、トイレの方から60歳位の黒縁メガネを掛けた会社では部長クラスといった出で立ちの方が突然僕の目の前にヌツと現れ、『オイ、お前ちょっと来い！！』と僕のYシャツの袖を持つて歩き出したので、『んつ！？俺、何かしたか！？』と訝しがりながら

らつこしていくと、そこは通路の奥にある男子トイレ…

『なんだ!?』と思つた瞬間トイレ中に充満する異臭…!
しばらく固まつていた僕の肩を男性はポンと叩き僕の手に五千円札を握らせ、『後は頼んだぞ!』と言つて手前から一番目の大便器の扉を指差しトイレから去つていつたのです。

僕は男性を見送つた後、恐る恐るその扉を開くとそこには、恐ろしいくらいに飛び散つた○ンコと、おそらく脱いでいる最中に漏らしたものであろう悲惨な状態のトランクスが脱ぎ捨てられていました…

『マジかよつ…!…どうやつたらこんなになるんだよつ…!…!』

本気でこのままにして店をバツクレたくなりました…（…・#）
しかし金を稼がないとヤバい状態だったので、嫌々トイレを暫く使用禁止にしてビニール手袋を着用し史上最悪のトイレ掃除を行つたのです…（泣）

掃除が终わり、疲れきつて戻ろうとすると一人のフロアアレティーの女性がこっちに来て僕に『ごめんなさいね。』と謝つてきたので、意味が分からずにいると、『あのヒト、トイレで漏らしちゃつたんでしょ。たまに飲みに来るといつもそうなのつ』

そう言つて女性はフロアに戻つていき、僕は、『漏らすの分かつてんならそう言つとけ…!…つていうかパンパース履かせとけつ…!…!』と怒りが溢れ出し、程なくしてその店を辞めました。

飲んだら絶対何かしてしまう方々には是非とも自宅以外では呑まないで欲しいものです…（…・#）

水商売を例えるなら…

ふと水商売の世界を離れ、派遣アルバイトなどで働いてみると、なかなかどうして色々な人々に出会えます。

中には以前は会社の社長さんだった人やそのスジの方まで：裏世界の人々と出会い易いのは、学生達が群がる大手派遣会社ではなく、どちらかというとガテン系で女性が殆ど来ない派遣会社でしょう。

形態も派遣というより請負に属する会社です。

その中には、僕のように水商売経験者がちらほらいたりしました。僕のようないろんな水商売を渡り歩いた人はいませんでしたが、まだ求人広告にホストの募集など皆無な時代にホストをやっていた人などがいたりして面白い話も聞けたりしてなかなか楽しめました。

僕のようなく水商売をやって、少しの間昼の仕事をしてまた夜の仕事を戻つてを繰り返したりする人は少ないのでしょう。

大概、水商売を渡り歩くか一度離れたらもう戻らないのが普通です。何故、一度離れた世界にまた戻つてしまふのか…

やっぱり色々とツラい事も多いのですが、楽しい事や旨味も多いから戻つてしまふんですね。

ある意味水商売はギャンブルに似た感覚なのだと思います。

毎日その日一日が終わってみるまで何が起こるか分からぬドキドキ感、ある出会いから一気に幸運や金を手にするなんとも言えない高揚感…頭の中で絶えず脳内麻薬が分泌されているのが自分でもよく分かるくらいに毎日が刺激的でした。

『そんなに好きなら戻ればいいじゃんつ』とお思いの方、確かに水商売は楽しいですが僕にとって水商売は20代半ばまでの仕事だと色々やつてきて思いました。

それに、結婚を考えている者は水商売に飛び込んだり戻つたりしない方が絶対に良いというのが、周りの人々を見てきた僕の率直な感

想です。

水商売には絶えず異性の影がつきまといます。

人間の欲望がストレートに表れる仕事なので、現在本気で恋人と結婚を考えている人は自分が働いているにしろ相手が働いているにしろ、水商売の世界から足を洗わないと結婚しても将来、後悔する結果になり易いので、その辺をよく考えて相手と話合つてみてはいかがでしょうか

こきなつられる理不尽な要求…（ - & もうひとつ…）

キヤバクラで盛大に行うイベントにフロアレディーのバースティーがあります。

当然、フロアレディーの多い店ではバースティーのイベントも必然的に多くなりますし、売上上位のフロアレディーのバースティーともなると色々な用意が必要になってしまいます。

お客様も女の口の為にプレゼントや店に飾る花を用意し、店側も入口や玄関前に飾る花やケーキ、男子スタッフで用意したプレゼントを渡したりと色々面倒だつたりします…（ - - - - ）

だいたい男子スタッフが女の口にプレゼントする物は、無難にタバコ・カートンだつたりする事が多いですね。

大変だつたりするのが、急に来店する事になつた指名客のバースティー。

開店間際になつて急に女の口にお客用のバースティー・ケーキを用意してくれと言われ、街中のケーキ屋さんを走り回つてやつと用意した後で、その女の口から、『もうちょっと見栄えのいいケーキが良かつたなあ～つ』なんて言われて軽く殺意が湧いた記憶があります…

（ - ” - - ）

というように、キヤバクラで働いていると時折、『何言つてんの！？アンタツ』と思つような要求を、いきなり言われる事が、決して少なくありません。

普段温厚な僕もそんな理不尽な要求にたまにキレたりしました。

例えば、たまたま店に用意してあつた生ビールと瓶ビールが営業中切れてしまい、時間も夜中の1時過ぎで酒屋も閉まつっていた為、お客様さん達には頭を下げてビールを諦めてもらつっていたのに、1人の女の口が指名客が来ていて気持ち良く酔つっていたのか散々他のテーブルでビールが無くて頭を下げている僕の姿を見ている筈なのに、『ビールちょうどいいつ』と言つてきたので、頭の中で『だから無

いつつてんだろつ！…』とイライラしながらも笑顔で申し訳ありませんと再度説明すると、『ビール無いなんてイヤつ！無いなら

系列店から借りるか買つてくれればいいじゃんつ！…』

『そんなん分かってるわボケエツつ！…どっちも駄目だから頭下げてんだろうがあつ！…』と心の中で鈍い女の口にキレ、『それがどちらもダメでして、申し訳ありません』とこめかみがピクピクしながら説明し直したのです。

『ビールならコンビニで買つてくれればいいじゃんつ』と思われた方、確かにそうなんですが、僕の働いていた店はかなり栄えた繁華街で水商売の店が多く、そういう場所では深夜までやっている酒屋さんが何店舗か必ずあります。

そういう場所では近くのコンビニは酒類販売の免許が下りにくかったり、酒屋との兼ね合いで酒類の販売をしてなかつたりする事が多いのです。

僕の働いている店の半径500メートルにはコンビニは、4店舗ありましたが一軒も酒は扱つていませんでした。

酒屋さんも深夜12時で終わっている為、頭下げていてるのにその女の口は、お客様の方は『いいよつといよつ』と言つて申し訳なさそうに僕に気を遣つてくれてると、まだ『ヤダッヤダヤダッビール無いとヤダア～つ！…』と赤ん坊のような仕草でダダをこね始め、僕はプチンとキレながら非常に冷たい眼で女の口に、『分かりました…缶ビールでも宜しいですか！？』と尋ねました。

女の口は、僕の眼を見て少し冷静さを取り戻した様子でウンと答え、僕は店長に『ちょっと缶ビール買いに走つて来ます。』と言い、店長が『〇〇クン、いいよつあんなの聞かなくて無視してて』と言つてくれたのを聞いた後に、『いいんです。ああいうのは口で言つても分かりませんから…態度で分からせます。』と答え、店のある南口と反対側の方へ猛ダッシュで走りました。

冬場なのにワイシャツ姿の金髪が、猛ダッシュで走つている姿は回りの人からしたらかなり異質だったと思います。

しかも走りながら、『あのアマツ死ねつ！』などの罵詈雑言を口走つて走つてましたからスレ違う人はビックリしたことでしょう。走り始めてから10分程して、繁華街から少し離れたコンビニで酒を売つていたので息を切らしながら忘れもしない【アサヒスーパー ドライ350ml】を2本買い、また猛ダッシュで店に戻りました。汗だくで髪を振り乱しながら店に入り、缶ビールをグラスに移し替えもせずに女の口のテーブルにドンッと置いてサッサとその場を後にし、キッチンに入るとトレンチを2枚使用不可能になるくらいぶん殴りました。

その態度にビールを頼んだ女の口はビックリして泣いていたそうですが、関係ありません。

ナメた態度を取るヤツは態度で分からせないと分かりませんからつただ周りの女の口まで怯えさせてしまつたので、そこは反省しました。

次の日、その女の口から謝つてきたので僕は自分の方こそごめんねと柔らかく謝り何事も無く日々は過ぎていきましたが、その後その女の口が無茶な要求をする事はありませんでした。

普段は店の為、女の口達の為に目一杯働くつ！！しかしお客でも女の口でも理不尽な態度や要求をしたら絶対に引かない！！これが僕のスタイルです。たまに客でヤ○ザの若頭の息子とぶつかり危ない目に合いそうになつたりしましたが、こちらがちゃんと筋の通つた事をしていれば、少し経つと分かつてくれてかえつて仲良くなつたりしました。

逆に自分よがりな事でキレても自分の評価をただ下げるだけでした。キヤバクラで働く男子スタッフの皆さん、ただ優しいだけや調子の良いだけではなく一本筋の通つたスタッフを目指してみては如何でしょうか

真冬の客引き…そして人情

寒さが痛く感じる2月になりました。

この時期、店の前に立つてポーターをやつていたり客引きに長時間外に居るのはかなありキツいですっ（・_・）

最近は過剰な客引きって余りしないと思いますが、僕が水商売を始めた頃は石原都知事の厳しい条例も無かつたのでガンガンやつてました。

ある意味その街の水商売ストリートでは有名人と言つても過言ではないくらいにハイテンションでガンガン客引きしていたのを思い出しますつ

キヤバクラで働く男子スタッフの皆さんはどうでしょうねー？

客引きは好きですか！？

嫌いですか！？

客引きをしていると、避けて通れないのが他店の客引きとのトラブル…

あんまり調子に乗つて客引き中に他店の前で止まつて、お客（見込みの）と交渉したりすると、例えほんの30秒位でももめますつ（ * 、 、 ）

こつちが沢山の客を引いていると尚更くだらないクレームをつけてきます。

クレームつける暇があつたら、その分客引きしちょつ…とよく思います。

また他店の指名客を客引きしたりすると、店まで乗り込んできてクレームをつけてくる勘違い野郎もいます。

どこの店に行こうが、お客様の自由なのにつ（、ー、）

まあ悪い事ばかり書いてますが、心温まる出来事もあります。

僕が大雪の中、他に客引きしているヤツなんて当然いない日に売上を上げる為、何時間も客引きをしていた時の事です。

歩いている人もまばらで、声を掛けても大概の人は家に帰るからと言つて足を止めてはくれませんでした。

そんな中、中年のサラリーマン3人組が目の前からやつてきたので、絶対連れて帰るっ！？という気持ちで声を掛けると、

『こんな雪の中声掛けてるの！？頑張ってるなあ～つ行つてやりた
いんだけど、行く店があるからごめんなつ』

と、気遣いながら言われてそれじやあしじうがないなと思い笑顔で見送りましたが、テンションは一気に落ちました…

しかし落ちても何の意味も無いので、気持ちを切り替えて再度客引きに精を出しました。

…が、大雪の中お客さんがつかまる筈も無く、店長に頭下げて店に戻ろうかとも本気で思いましたが、結果を出せずに引き下がるのがその時は許せなくて閉店1時間前までは頑張ろつと氣合いを入れ直して、また客引きを再開しました。

雪の日の夜というのは、とても繁華街といえども静かで段々と人も見かけなくなつていき、いつもはハイテンションの僕も、軽く泣きたくなりました…

もう無理かと思つた深夜1時過ぎ…僕の背後から『まだやつてたの…？』という声が聞こえてきたのです。

声の方を見やると、さつきの気遣つてくれた中年サラリーマン3人組の方達でした。

僕は、『ハイツまだやつてますっ これからお帰りですかっ！？』と空元気を出して返答すると、サラリーマン3人組のリーダー格の人があっけなく沈黙し、『いやあ、実は遠目で君の姿を見て一度違う道から帰ろうとしたんだけど、この雪の中1人で頑張つてのからやつぱり放つておけなくてさつ ディのお店なの！？ワンセットだけしか行けないけど連れてつてよっ』と言つてくれたのですっ！！

この時ほど人の人情が染みた事は無いくらいにジイーンときて、このオジサンに抱かれてもいいつと一瞬思いましたっ（笑）

客引きは、時には厳しい思いもしますが、普段は気付かない人の人情触れる事もあるので現在でも客引きしてる方は、寒さに負けずに頑張つて下さいねっ

水商売の食は安全！？

「週間くらい、巷は毒物混入餃子で過剰なくらいに騒いでますね。

もちろん僕も餃子はこの報道以来食べていませんつ（ - ）
実際どうなんでしょう！？皆さんは普段から食べ物に対してどの位
気を遣つておられるのでしょうか。

日本製といえども食品を扱う仕事をしている人は、多かれ少なかれ、
『あつ…まあいいか…』というケースがあるのででは！？

僕が首都圏では、そこそこ有名な和菓子屋で働いていた時には、よ
く作つたあんこの中にゴキ○リの小さなヤツが熱で丸く縮んで混入
してました。

月に2、3度は苦情がお客様から来てましたが、いつもより少し
入念に掃除するぐらいで会社として、あんまり気をつけてはいませ
んでした。

多分今でもワシマン社長の経営なので変わつてはいないでしょ
う…さて水商売ではどうでしょう！？

お店では結構フードやドリンクがありますよね

これはあくまでも僕が見てきたケースですが、色々見てきた感じで
は、かなりの割合である事です。

まずドリンク。カクテルにのつているチエリー…かなり使い回して
ました。

レモンなども当然使い回します。

フルーツ盛りが出てキッチンに戻つてきた後などは特に使い回して
ました。

次に出るフルーツ盛りにだつたり、フルーツジュースだつたり…
フードにしても、まずは飾り用に皿に盛るレタスやパセリは当たり
前、お新香も半分余つてキッチンに戻つてくれれば新たに半分盛つて
違うテーブルに出します。

唐揚げなども、もう一度軽く揚げ直して出したりしました。

注) キッチンのチーフがやつてました。

水商売は、ちゃんとしてる店はこんな事をしていませんでしたが、結構メインが接客な為にフードやドリンクに対しては緩かたりします。

中には賞味期限を過ぎていても出したり、床に落ちた物を出したりします。

さすがに床に落ちた唐揚げを出そとキッキンのチーフが僕の目の前でした時は、『チーフツそれはマズいよっ！！時間掛かってもいいから作り直して』と言つて止めましたが、これと似たような事が色んな店で起こっていることでしょう…

皆さんも飲みに行かれた際、フードやカクテルを頼んでみてチエリーやレモンが新鮮でなかつたり、パセリやレタスがしなびていたら『ん！？もしかして』と少し考え食べたりしない方が良いかもしれませんね。

ちなみに僕は、他店に飲みに行つた時はフードには手をつけませんでした。

酔つていると細かい所に目が届きにくいですが、その辺を見越して店側も手抜きをしてきたりするので、ちょっと注意して見てみては如何でしょうか！？

夜の世界のアリとキリギリス…

最近は日経平均株価も13000円代と冷え込んでますが、水商売をしている皆さんは稼いだお金はどうされてますか！？

- ・ファッショն
- ・ペット
- ・整形
- ・ブランド物
- ・ホスト
- ・キャバクラ
- ・風俗
- ・資格

…色々ありますが、水商売で稼いだお金は総じて水商売（風俗含む）に還元され易いです。

例えば、ある風俗嬢の場合…月の月収が220万という大金を稼いでいましたが、まだハタチそこそこで将来の事より目先の遊びが全てでした。

毎日仕事の後、ホストクラブで夜を明かし支払いなどで必要なお金以外のお金をホストにつぎ込んでいたのです。（現在進行中ですが…）

彼女は、『お金なんてまた稼げばいいじゃんつ』と軽く言つています。

さて、月々彼女がホストクラブに落とした金額は、約180万。年に換算すると約2200万もの金がホスト遊びに消えていった事になります。

当然この「」の場合、貯金なんてしていません。他人にはホスト遊びでも本人にとっては本気だから…しかし、その「」の指名しているホストは着々と貯金をしています。将来の自分の為にウン千万という金を…

その口にとつてそのホストは本気の恋。

ホストにとつてその口はビジネス。

数年後に2人には明確な開きが生まれます。

ホストクラブのオーナーと人気に陰りの見えた風俗嬢という…
その時、その口はお互いをふと客観的に見てどう思つのでしょうか！？

『ああつ〇〇クンがお店のオーナーになれて良かつたあと素直に喜んでいるのでしょうか。』

それとも数年間ちゃんと将来を見据え、夢を叶えた彼の姿を見て、
そのホストがなんだか遠くに行つてしまい自分が取り残されたよう
な寂しい気持ちになるのでしょうか…

水商売や風俗関係の口の中には、しつかりしたビジョンを持つてマ
ンションのオーナーやお店をオープンさせる口もいます。
まず田先の遊びより自分の将来の基盤をしつかりと築いて、お金を
稼げるサイクル（店舗収入や賃貸料収入など…）を作り上げてから、
ゆっくりと遊ぶのです。

さて…今、思いのままに稼いだお金をホストにつき込んでいくその
口。

数年後、稼ぎに陰りが見えハタチの時稼げなくなつた時に、数年前から将来を見据えてマンションなり店のオーナーとなつた元風俗嬢の口と田先でのホストの取り合い（店舗内ですが）になつた時に、果たして勝ち目はあるのでしょうか！？

そして田先でのホスト（この時にはオーナーになつてゐるとして）
は、いつたいどちらの口の方に魅力を感じるでしょうか！？

答えは明白ですね。

もし今、上記に書いた事でふと不安になつたアナタ…
少しの間、将来の自分の為に投資してみては如何でしょうか！？
いつまでも夜の世界で魅力的に見える為につ

水商売を生き抜くには...（前書き）

随分放置して申し訳ありませんm（uーu）m

水商売を生き抜くには…

水商売から完全に足を洗つて丸2年が経ち最近の水商売について、とんと疎くなつてしましました。

水商売で知り合つた仲間は99%お水の世界から消えていきました…（自分も含めて）

僕も含め、大半は水商売で働く期間中に何がしかのモノを残し次に繋がるように計画的に行動出来ず、大概がその場しのぎの生活に生き着いています。

テレビでは、水商売の華やかな面ばかりクローズアップされがちですが、そのほんの一握りの成功者の影ではウン万倍の上手くいかなかつた人達が居ます…

挫折と思つていなくとも、お水の世界を経験した後で経験する以前と生活が変わつてしまつた人は多いでしょう。

例えば、キヤバクラで働いてみて日払いでお金が手に入るようになり、金銭感覚が狂い金遣いが荒くなり、結果借金が増えた人々…かなりの数に及ぶと思います。

借金の為に水商売が辞められない、又はもつと稼げる風俗に流れ引きつかけになつた人もいるでしょう…

ホストで成り上がりを夢見て上京してきた若者も、大半は現実の厳しさを目の当たりにし、その後ガテン系や日払いの仕事でなんとかしがみついている…そんな人が多いと思います。

水商売は良い時期と悪い時期との変化が激しい世界です。

順風満帆な生活が近い将来、一変する事がままあります。勿論、逆もありますが總じて稀です。

一度甘い蜜を味わつた人間は、なかなかコツコツ真面目な生活には戻れません…戻れたとしても長くは続かないのが僕が見てきた現実です…

僕自身は、何度か『人生ここまでかな…』と思う事がありました。

ただそのたびに出会った人々に救わて今日まで無事暮らしてこれました。

それは自分で引き寄せた訳ではなく神様でもいるかのように必然と思える出会いです。

女性だけに限らず、たまたまアクシデントがあつて知り合つた会社の部長に拾われたりと、辞めた今も感謝しています。

今になって思えば、水商売の世界で生き抜いていくには、目先の金に執着せず遠い未来の為に人間関係をしつかり築いた者だけが、最後まで水商売をまつとう出来るのだと思いました。

キャバ嬢達の表と裏

もう少しでG・Wがやつて参ります。

ちょうど僕が最初の水商売デビューをしたのがG・Wでした…

お店が新規オープンでやり手の店長のキャバクラだったので、まさに死ぬ程の忙しさでG・Wの営業中に男子従業員が2人バッくしました…

ひと月程そのキャバクラで働いていて一番ショックというか『えつ？？』と思った事は、人間の裏表のギャップです。

やはりキャバクラどころか水商売初経験のその頃の僕には、見た目に自信のある女性約40人を目の当たりにしてドキドキしない訳がありませんっ

キャバクラにも行つた事もありませんでしたから、ある意味ハーレムにいるかのような錯覚を起こしました(笑)

心の中で、あの口カワイイなあ～

あの口もカワイイ

あの口は、アンドレ・ザ・ジャイアントに似てるつ(笑)

：などなど自分勝手な妄想をしながら最初の内は、仕事は超ハードでも楽しくキャバクラワークをこなしていました。

キャバクラで働いた事がある男性なら分かると思いますが、最初の何週間かは毎日の店内業務と女の口達の名前を覚えるので手一杯で余計な事を考える余裕などありません。

あつたとしたら、よほど暇なヤバい店でしょう。

3週間程して体も慣れ仕事もある程度形になつてくると、余計な事を考える余裕が生まれてくるのです。

自分が気に入つた口達には、他の口達より目がいきますし、ある意味それが栄養剤の代わりになつてくれたりします。

そんな中、それまではただ接客している姿を見ていて、『ああっ笑顔が優しげでカワイイなあ～』などと思っていた口が、営業が

終わると一変して無口無表情のロボットみたいに変貌した姿を見て『こんな口だつたの…』と、ある意味ショックを受けました…

それからというもの店の女の口の外見より内面的な部分を観察するようになり、半年程経つと軽く女性不信になりました…（・_・）これは、僕個人がキャバクラで働いていて思つたり感じたり経験したことなので、一概に言えない事ですが、タイプ別にキャバクラで出会った口達の見えない部分を上げていきます。

・タイプ1：見た目カワイイ系で癒し系タイプの口の場合

第一印象でもっとも好感度が高いこのタイプは、今までの人生で周りからチヤホヤされてきている為、カワイイと言われるのが当たり前とある意味思っています。

下から相手を上目遣いで見上げながら話を聞くタイプが多く、お客様を勘違いさせるのがとても上手です。

貢ぐより貢がれるタイプなので、何か約束しても口約束にされがちで、一見穏和そうですが、実は負けず嫌いで気を許した人間には、気にくわないヤツの悪口をガンガン言つていたします。

そして全く計算してなさそうで、その実したたかな計算に基づいて行動している事が多いので、惚れると振り回される可能性大です。

・ケース2：見た目クールな細身の美人系の場合

目が切れ長で女性からも綺麗な口と認められるタイプ。

総じてそんなにお喋りではなく、その場に居るだけで存在価値があり、このタイプを狙つてくる男性は自分に自信があつて金も持つているタイプが総じて多い。

見た目クールな為、冷たそうに見られがちだが、実は情に厚く面倒見が良かつたりする。

金持ちの男性からアプローチが多い割に選ぶ男は意外に貧乏だったり、見た目がイマイチだつたりする。

結構苦労するタイプだが、そんな所が自身の魅力を上げていたりもする。

・ケース3：見た目芋っぽい、どこか田舎くさい女の「の場合

どこか垢抜けない昭和の香り漂うタイプ。

がつたりメイクの口達とは対局に位置する彼女達は、決して雄弁ではないが、こちらが軽い気持ちでした口約束もちゃんと真摯に受け止め実行してくれるデキタ女の口が多い。

家事もしつかりとこなし、料理上手な口も多いので末永く付き合つには一番良いタイプ。

マイペースな口が多い為、手を抜いていると思われがちだが本人は表に出さないだけで一生懸命やっているので、長い目で見守つてあげると成長する口が多い。

まあ自分勝手な解釈で書きましたが、僕が水商売で出会った口達は、上記した大別が一番当てはまります。

キャバクラで働いてからプライベートでも女の口の内面を見抜こうとしてしまう癖がついてしまいました…（汗）

思いも寄らぬ報復…

長い事放置してすいません

何を書こうか考えている内に150日余り放置してしまいました。それはさて置き、季節の変わり目は仕事の変わり目でもあります。『もうすぐ夏も終わるし、新しい仕事探そつかなあーっ』…なんて経験皆さんしてきたでしょう。

僕はよく春になると仕事を辞めたりました（笑）

そして1ヶ月程悩み辞めてしまうケースが、まま有りました。

今回は、そんな季節の変わり目に起きたある問題です…

ある街のそこそこ人気のあるキャバクラにリナという女性がいました。

お店でも5本の指に入るくらい人気があり、見た目もスレンダーで美人系です。

お店に勤め始めてから1年経過していました。

前にも書きましたが、見た目スレンダーな美人系というのは第一印象は概ね気が強そうとか、冷たそうとか良くないイメージを持たれがちですが、大概が情に厚いヒトが多く、むしろ気をつけるのはカワイイ系だと書きましたねっ

このリナという名も口数は少ないけれども、誰に対しても優しく接してくれて、お店の「達の評判もけっして悪くなく、むしろ良かつたのです。

ある日リナからお店のママの方に数日休みますという連絡が入りました。

お店の「達は、ヒソヒソ噂をしています。

『また例の彼氏のDVじゃないの』と…
リナには同棲している彼氏がいました。

普段は優しい彼氏なのですが、たまにリナに暴力を振るう悪い癖があり、そうなると体中にアザが残るのでアザが消えるまでリナは、お店を休むといった事が、これまでに数回あったのです。：

そういうしていふうちに数日経ちリナが週末に出勤しました。お店の口達も、『何かあったの？』なんて野暮な事は聞きません。お店は何事も無かつたかのように賑わい、その日もそここの売上を上げて終わりました。

日曜定休のお店なので、1日空けて月曜日の営業です。

お店の営業が始まる前、店長の方から女の口達に話がありました。
『ええ、…1年程この店で働いてくれたりナちゃんが、お店を辞める事になりました。皆さんに宜しくとの事です…』

突然の事に女の口達もざわめきました。

結構仲良くやっていた口達など尚更です…全く誰にも何も言わず、リナは最後の挨拶も無しにお店を辞めてしまったのです。

仲良くしていた口達もリナに連絡してみましたが、連絡は返つてこず、住んでいたマンションもとうに引っ越した後だったというのは後々分かりました…

リナが辞めて1週間…みんなまだ少し気になっていました。

一言くらい相談してくれたらと…

そんなんある日、ロッカールームで女の口達がガヤガヤ騒いでいます。どうやら2ちゃんねるの自分達についてのお店の書き込みが話題のようです。

女の口達は尋常じゃないくらい怒っていました。

お店の女の口達個人個人の悪口や有りもしない噂話が列挙してあつたからですっ

『何コレッ私客となんか寝てないよつーー』

『私だつて客に貢がせてなんていないもんつーー』

中味は真実半分嘘半分といった所でしょうが、問題はそれを書いた

人物です。

どうやら1週間前に突然辞めたリナが犯人らしいのです

リナらしき人物が書き込みした個人やお店に対する噂話や悪口は膨大な量でした。

まるで今まで溜まっていた膿を全部吐き出したかのよう

お店の女の口の中には、リナが書き込みした事を信じらんない口も何人かいました。

温和で優しかつたリナが、あんな事を書く訳がないと…

しかし、お店のある口がネット上で書き込みした本人とやり取りし、リナしか知らないような事にまで返答してきたので、まず間違い無いだろうということでした。

女の口達は冷静に振り返ると、確かに優しいリナに甘えて色々頼み事をしたり、延々話を聞いてもらつたり、リナの気持ちも考えないでリナを利用していった節はあつた事に思い当たりました。

ただ、だからと言つてこんな形で返してくるなんて想像もしていました…

その後、噂が噂を呼びお店で働くとする女の口も集まらなくなり、お客様の人数も激減してしまいました。

皆さんも相手がハイハイ言う事を聞いてくれるからといって、調子に乗ると思いも寄らない形で痛い目に合つ事がありますので気をつけて下さいね

田舎の出でわなヒト

人間、良いも悪いも生きていると何年かに一度、運命的な事がありますよね！？

一番起こり易いのが異性との出逢い…

まあ酔っている場合はアテにならないので外しますが、皆さん運命を感じたり第6感がキュピーンッ！…と何かを知らせてくるような出逢いを一度は経験なさっているのではないですか？！

この感覚… 日常に特にシラい事が無い人より、常に崖っぷちの人が方が研ぎ澄まされているような気がします。

僕自身振り返つてみると、例えば日々の暮らし가安定していく彼女とも上手くいっていると別段出逢いも無く毎日が過ぎていきました。ところが付き合っている彼女と別れるのも秒読みで、水商売や日雇いの肉体労働などに勤しみ先行き不安な状態の時ほど、『あつ…何だろう』の感覚…と思えるようなコと出逢い、結果付き合いつになり、2年3年と一緒に居るようになります。

『そんなに上手くいかねえよ…』と、お思いの方…いつもガツガツしていませんか？！

体の表面から

「恋人欲しい～っ！」的なオーラを無意識に発しているかのように…

例えば飲み会で会ったコとすぐホテルに行きたいくと思つてしまい、そういうテンションで飲み会の時間を過ごしてしまったヒト…別にホテルに行きたないと望んでいるようなコが相手ならそれで構いませんが、見た目にそこそこ自信があるコは、『私、そんなに安い女じゃありませんから。』といつ自負があります。

皆さんならどうします？！

「こりゃあ無理だ…」と思つて諦めますか！？

それとも、そんな女性の心理など関係無しに自分の思つた通りに行

動しますか！？

僕なら

「大丈夫っそんな気無いからっ」 とこうふうに対応します。
ガツガツせず、相手が気分良く過いせ、そして話を気持ち良く聞いてあげる。

例えその時に何も無くても相手の自分に対する印象はとても良くなります。

すると相手の内面では、自分という存在が

「このヒトなら一緒にいて安心っ」という状態になり、また飲みに行つたりカラオケ行つたりしようよっ…となる筈です。

僕が言いたいのは、常日頃街で見かける欲に流され酔っ払つて居酒屋の前で女の口達を落とせず、おひらきになるのが嫌で居酒屋の前で粘つて話そうとしているハタチそこそこの口達…

「もつと相手の気持ちを読め！！自分ありきで行動するなーー！」と言つてあげたいし、週末の夜を見ているとふと

「ああ～っ下手くそだなあ～…」と思う若い口が多いです。

多分こうこうタイプのヒト達は、運命的な出会いを感じたりする機会が極端に少ないか、常に運命的な出会いに感じるかのどちらかでしょう：

これから先、運命的な出会いをしたいなと思つてゐる方々…まずは上記のような事を考えてみては如何でしょうか！？

それぞれの酒癖

水商売の世界は、飲むのが仕事の主な部分を占めます。接客という大前提もやはりアルコールという力があつて効果が何倍にもなる事が殆どだからです。

お酒が無くていいならキヤバクラやホストクラブに行かずメイド喫茶系に行けばいい話ですから…

水商売で働いていて色々な人間模様を見てきました。

キヤバ嬢に振り回される客…

キヤバ嬢のストーカーになる元カレ…

会社の経営者だった人が数ヶ月でバイト君と化すのを見たり、行方不明になる人まで様々です。

他の世界では考えられない事が日々起るのは、やはりアルコールと異性が交わる世界だからでしょうか…
何故、人はお酒を飲むと多かれ少なかれ人格が変わってしまうのでしょうか…?

飲むと普段内気な人が喧嘩腰になつたり、寡黙な人が陽気になつたり厳格な人が幼稚になつたり…

深層心理で自分が望んでいるであるう状態に、酒の力を借りる事によつてなつてているのでしょうか…?

僕自身は酒を飲むと少し陽気になるくらいなので、恐ろしいくらいに変わる人を見ると、『どうしてそんなに性格変わるの…?』と思いつつアルコールの恐ろしさを感じてしまいます…

そして僕自身も、そんな世界で長い事生きてきたので酒で痛い目には幾度となくあつてきました…

痛い目といつても僕自身は上記した通り酒でそんなに豹変するタイプではないので大概は付き合つた女性が爆弾だったというパターンです。

飲むと多重人格になる「と付き合つていた時は、人前でいきなり人

格が変わり幼児化したり記憶がいきなり無くなったり一緒に居た9カ月間は彼女が飲みに行つた夜は常に『今日は何事も無く帰つて来るのだろうか…』と気が気でない日々を過ごしましたし、18歳からキャバ嬢というコと付き合つてた時などは、何度も飲酒の挙げ句の果てに警察沙汰になつたか分かりません…（泣）

それ以降、付き合う彼女はお酒を飲まないコが大前提になりました。皆さんもこれから年末に向けて飲酒の機会が増えると思いますが、まずは一緒に飲む人の事を考えて飲んで下さい。

それが後々自分の為になりますからつ

働く人々

水商売の世界で働く人間は、多かれ少なかれ何がある又は、あつた人間が働いている事が多いような気がします。

その何かは十人十色：人それぞれで千差万別ですが、一番多いのは金銭問題でしょう。

僕自身も、お水の世界に足を踏み入れたきっかけは自身の借金でした。

水商売が何たるかをまったく理解していなかつた僕は、初任給から月給25万円というのは何よりも魅力的に感じたのを覚えています。その25万という給料に色々な意味が込められている事に気付くのは、直接に受かつて働き始めて2週間位経つてからの事でした。精神的にも肉体的にも、後にも先にもこの時の仕事に勝るものは、今現在でも有りません…

厳密に言えば、体のきつさではコンテナの荷下ろしなどの方がキツイですが、常に客や女の「達、そして強烈な店長が見ている環境での仕事」という意味で心身共に激務でした。

まあその事は本題ではないので省きますが、そんな環境に順応する輩といえば、やはり一癖ある人間が多いような気がしますつ（自分も含めてつ）

初めて働いてた店では、元自衛隊員や常に競馬新聞を見ているチーフ、他県で借金取りから逃げてきた自称スーパーウェイターetc…ちょいと挙げてみてもちよつと他の職場では、お目に掛かれないような面々が揃っていました。

経歴や振る舞いだけではなく、性格も一癖あつて、以前の職場で同僚や上司とぶつかつて辞めたというタイプがかなあ～り多く、僕自身も何度かこの人達とマジギレでぶつかつたのを覚えてます…我が家が強く個性的な人間が多い水商売の世界では、性格がデリケートで

内向的な人は余り向いていません。

多少の失敗など気にもとめないような、図太い神経の持ち主が理想的です。

かといって、人の気持ちが読めないような人では出世はあまり望めないので、その辺のバランスが難しいところです。

1つだけ水商売の世界である程度成功する人が持っているモノを挙げるとしたら今現在ではなく将来を見据えて日々を送っているという事でしょう…

そして根っからの助平という事でしょう（笑）

「シトヒの本様…（繪書も）

今回長いです。すいません…

「カクテ」のお客様

僕が、水商売の世界に身を置いたのは丸5年と半年くらいでした。5年半といつても途中何度も辞めていた時期があるので始めた時から完全に辞めるまでの期間は8年くらいでしょうか。

水商売の世界に入った年齢が大多数の人々は十代でしょうが、僕の場合は普通のサラリーマン 専門学校生 事業者と少し省いていますが、色々とあって20代半ばに差し掛かろうという時期に縁あつて！？入った訳です。

5年半という年月の間に水商売と一緒にいろいろな形態の店を渡り歩きました…

良い事ツラい事…まあ半分以上ツラい事でしたが、生きてきた人生の中で一番充実していた事は間違いありません。

でも戻りたいか！？と聞かれれば答えはノーですけど（笑）

5年半もいると色々と面白い事にも遭遇したりする訳で、今回の話は僕がある街で軽いホストをしていた時の話です…

その頃、僕は一度足を洗った夜の世界に再び1年ぶりに舞い戻つて間もない時でした。

1年間ブランクがあつて果たして上手く接客出来るだろうかと最初の内はよく考え込んだりしていたのを覚えています。

しかし周りの先輩方が優しい人の良い方ばかりだったので、（全員ではありませんよ）気持ち良く接客する事ができ幸先の良いスタートを切る事が出来ました。

その日も深夜からの開店準備をちゃっちゃと済ませて店の入口から少し入ったカウンターの中で、お客様が来店するのを焼酎の水割りをチビチビ呑みながら待っていると小振りのバッグを持った30代半ばくらいの、見た目が昔いた太平シローだったかな前を忘れましたが、そんな風貌の男性が一人で入店してきました。

カウンターの中には僕と、お店では古株の先輩とその時は2人居で、僕達は男性に対し、『安全なお店ですよ〜つ』という気持ちを込めて、

「いらっしゃいませ〜」と軽い笑顔で迎えると、その男性は入口でバツと身構えるポーズを取り、

「なんや怪しい店やなあつ身ぐるみ剥がされるんとちやうかあつ」といつてカウンターの方にやってきました。

「そんな事しませんよお〜つウチは安価で安全をモットーにやつてますから」 と適当な事を言つてカウンターの真ん中の椅子を勧めて座つて頂きました。

どうやらサパーに来たのは初めてらしく、座つてもソワソワして落ち着きが有りません。

とりあえず先輩がシステムの説明をササッとして飲み物の注文を取らうとしていると、

「せやなあつじや 燃酌ミルク割りで〜」

先輩がポカアーンとしているのですかさず僕が

「なんでやねん〜」と軽く突っ込むと男性はホッとしたような嬉しそうな顔で、

「おつ兄ちゃんいいノリやなあつこつちの兄ちゃんダメやんつボオ〜つとしてたら」 と急に饒舌になりました。

僕は以前、大阪出身の友人と一緒にいた事があつたので、懐かしいノリでとてもやりやすいなと思つたのを覚えてます。

対して先輩の方は、どちらかというと女性のお客様の方が話し易いらしくやりづらそうな感じで、アイコンタクトで『お前に任せた』と合図されたので僕がメインで男性を接客しました。

ボケと突っ込みを交えながら男性の話を聞いてみると、どうやら大阪の和食の料理屋で板前をしていたらしく30代の中に東京で勝負がしたくて上京してきたという話でした。

で東京に来てとりあえず飲み屋まあキャバクラですがで女性と意気投合して、女の口のお店が終わってから会う約束をし、女の口が来るまでの間、時間を潰

せる場所はないかと迷つていて僕の働いている店にたどり着いたと
いう事でした。

「東京に勝負しに来ていきなりキヤバクラでキヤバ嬢にハマつてん
なよっ！！」

「とは僕は思いませんでした。」

僕も仕事も住む場所も変わつて人恋しい時、普段は自分から絶対に行かない同業の店にふと行つてしまつ時があります。

僕の場合住む場所が変わるといつても、せいぜい都内とか東京に近い埼玉とかそんなモノですが、大阪から東京にたつた独りでこっちに知人も居ないときたら、僕には想像出来ないくらい不安で心細かつた筈です…

そんな時に街をアテも無くフラフラ歩いていたら光輝くネオンの明かりが、とても魅惑的に見えた事でしょう。

そして東京で仕事とはいえ、初めて優しくされたのであれば、そのキヤバ嬢に惚れてしまつたとしても誰が男性を責められるでしょう？なんて、そこまでは思いませんが、まあいいんじやないでしうかつ僕に出来る事といえば、そんな男性の話を聞いてあげて少しでも楽しんでもらうだけでした。

「なあなあつどうなん！？こっちの女の子は…？やっぱり注意せなアカンか！？」

「僕には○○さんの知り合つた女性が、どんな方が分かりませんが大阪も東京も変わらないと思いますよ♪」

なんて会話を2時間程し、男性は上機嫌で焼酎の水割りをクイクイと飲み続け、途中はしゃぎ過ぎて椅子から床に何度も転げ落ちていました。

そんなこんなで時間も深夜2時を回り、男性が携帯をチラチラ気にし始めたので、

「そろそろ待ち合わせのお時間ですかー？」と尋ねると、「ああつもうすぐ時間やなあつ名残惜しいけど、そろそろ勘定してくれるかあ

分かりましたと笑顔で答えながらササッと伝票を書き男性に渡します。

「なんやヒラい安いなあつコレで商売やつていけるんか！？」

「ウチは安価で安全がモットーですから」

笑顔でそう答えキヤバ嬢との約束の場所に向かう男性を入口まで見送り、笑顔で手を振りながらエレベーターに消えていく後ろ姿に深く一礼して僕は先輩の居るカウンターの中へと戻りました。

やれやれといった感じで一服している先輩に、

「あのお客様さん、女性と会えますかねえ！？」と、僕もタバコに火を付けながら聞くと先輩は手元の水割りを飲みながら、

「どうだらうなあ…約束の時間になつても連絡無かつたみたいだしなあ」と、少し遠くを見ながら返してきたので僕も少し不安になりました…

東京に来てこれから先、色々な苦難が待つていてる筈…今日くらいはとことん楽しい1日であつてあげて欲しいなと、ふと思いました。30分程経ち、お客様が来ないと入口を出て通路からビルの下の通りを先輩と覗いてみると、そこには先ほど上機嫌でキヤバ嬢との待ち合わせに行つた筈の男性が不安そうに待ち合わせ場所らしき所を行つたり来たりしていました。

僕は心の中で、『ああつ体よく遊ばれたか…』と男性を不憫に思いつつも、これがこの世界の日常だからしょうがないかと考え、男性に気づかれない内に店の中に戻りました。

僕に見られてたと知つたら男性は恥ずかしいと思うと思い、あえて下に行つて声を掛けるような真似はしませんでした。女の口に会えなかつた分ウチの店で飲み直して気分を発散してもらいたいとも思いましたが、それはお客様が決める事…入らぬ親切になる事もありますからねっ

その後、その男性を見掛ける事は有りませんでした…あれから6年…あの男性がこっちで成功していればいいなと、たまたま思い出しては思つてしまします。

広そうで狭い世界…

水商売の世界は、広いようで狭く、店を辞めて全然違う店に入つても、実は系列店だったりオーナー同士が知り合いだったなんてよくある話です。

なので元従業員の噂話や辞めたその後の話が耳に入つてくる事があります。

大概は、

「アイツ、今度どこぞこの店で働いてるんだってさ」「くらい」のモノですが、中には店の女と逃げたらしいとか、売り上げ金持つてバッケレたなんて話まで入つてきます…

働く街を多少変えたくらいでは、横の繋がりやお客さんからの報告などで、ある程度行動が筒抜けになつてしまふのです。

自分の知らない所で自分の噂話や行動が語られている…

怖いですねつ

僕もこんな経験がありました…

それまで働いていた街を離れ、誰も知り合いがない街で働き始め、どこの街で働いているか以前の知り合いには誰にも言わなかつたのに、ある日、知り合いから電話があり出でみると、

「ねえ今〇〇で働いてるんでしょっ!?」と聞かれ一瞬背筋がゾクツとしました。

詳しく聞くと、情報元は僕が以前働いていた店の常連客で、色んな街で飲み歩いている中でたまたま僕を見掛けたらしいのです。

それを聞いて僕は心底…『心機一転1から新しい街で頑張るつもりなら関西にでも行かなきや無理だな…』と、つくづく思いました…

水商売の世界で働いている皆さんや、これから働こうと思つている皆さん…

広いようで狭い世界ですので、くれぐれもトラブルは起させないよう気をつけましょうねつ

バイオリズム

季節の変わり目には体調を崩しやすいですよね！？

それとはまた違いますが、バイオリズムによつて気分が上向いたり逆に下がつたりします。

人によつて1日で変化したり、何日も続いたり様々ですが、僕の場合、何かキッカケとなる出来事が高確率で起こり、そこから気分が絶好調になるか絶不調になるかのどちらかで、よく友人には、

「性格は穏和なのに、考え方が極端だよね」と言われますが、考え方というより思考回路がそういう方向に結論を持つていつてしまふと自分では思っています。

何が言いたいのかと言うと、同じ人間で見た目も全く変わつていな
くてもバイオリズム如何で結果が著しく変化すると言いたい訳です。
僕が接客業を辞めようと決意したのは、年齢とか酒で肝臓やられた
とかの理由では無く、メンタル的な事でした…

それまで働いていた店のムードメーカー的存在だった僕は、大した
理由も無く『なんかダルい』というしょーもない理由で店を辞めて
しまつた事があります。

それから2ヶ月後、その店で働いていた先輩に、お店のお客さんと
アフターしてゐるんだけど、1人じゃキツいから助けに来てと頼まれ、
やむを得ず助けに行つたのです。

指定された某カラオケ店に行くと、お店で有名な名物おばちゃんと
疲れ果てそうな先輩が2人でデュエットを歌つていました（笑）
内心、『この2人でアフターなんて珍しいなあ…俺が店辞めた後、
仲良くなつたのかな！？』と思いつつ、

「お久しぶりですつ○○さん！ 先輩も久しぶりですねっ」と、
さも嬉しそうに挨拶し時間も13時頃で早く終わらして夕方前には、
帰りたいと思い参加しました。

…ところがここからが地獄の始まりで、結局カラオケ店を出たのが

17時つ（泣）

しかもその後おばちゃん、「

「飲み直すから付き合えつ！！」と半ば強引に僕だけ拉致られ居酒屋とダーツバーに連れて行かれ延々話を聞かされる事になつたのです…

『あつたまには先輩の顔見たいなつ：なんて思わなきや良かつた…』と、わざわざ電車に乗つて1時間掛けて来た自分を呪いました…そろそろ終電の時間も気になり始めたので、おばちゃんにやんわりと帰りますと切り出そうとするが、おばちゃんもその空氣を読み取つたのか急に話題を僕が何故店を辞めたのかに切り替えて聞いてきたのです。

『ハア…早く帰りてえ…』

10時間以上付き合わされてヘトヘトな僕は、適当な事をそれっぽく言つて帰ろうと考え話始めました。

「いやあ～別に店が嫌だつたとかじやないんです。居心地良かつたし、みんな良くして下さいましたし。ただ金錢的に店の給料じや厳しかつたので辞めたんですよ」

「そうだつたの、すぐ楽しそうに仕事してたし何で辞めたのか気になつて社長に聞いても笑つて誤魔化すだけだしさつ

笑いながらハイハイ言つておき、頃合いを見て帰りますかと言おつとしたら、何を思ったかこのおばちゃん、ガシッと僕の手を掴み、

「分かつた！じゃあワタシが社長に給料前より上げてもらつよう言つてあげるからっ！もう一度頑張つてやりなつ！！大丈夫っ社長とか古い付き合いだし、アンタはこの仕事向いてるから頑張りなさいっ！」

…余りの唐突さに声も出ませんでした。

社長と古い付き合いだからって、お密に給料交渉してもひつなんて普通に考えてありえません。

そんな事されて、どの面下げてその店で働くというのでしょうか…プラス、僕はただダルいという理由でチーフには辞めますと挨拶し

ましたが、社長には一言の挨拶もしないで辞めたので猛烈に会いました。

しかし、このおばちゃん…

「そうと決まれば急ぎましょ」つもつお店も聞く時間だし行くよつ！」

そう言って僕を辞めた店に半ば強制的に連れて行つたのです…涙そして店に入り何故か辞めた身で、他の従業員が居る中、（知らない新人も何人か居ました。）おばちゃんの接客をしながら社長を待つという、

『悪い夢なら早く覚めてつ…』

という状態が1時間程経ち社長登場（泣）

ここから更に1時間話合いでああだこつだつて、また働く事になつたのです…

給料は上がつたのかつて！？上がりませんよ。自分に対して礼儀を欠いたヤツの給料上げる社長なんていませんよね！？

その日僕は寝ずに急遽接客、しかも私服でつつ

終わつた後に、社長から軽く嫌味な小言を言われましたが、人間の出来たチーフにかばつてもらい復帰する事になつたのですが、ここからが問題でした。

本心では別にやりたいなんて思つてないのに復帰する羽目になつた

ので、気分が乗らず以前のような軽快なトークが出てこないので

（汗）

当然楽しい訳も無く、この後再び辞めるまで以前の何倍も苦しみました。

一度やる気の炎が消えると再び火が点るには並々ならぬ努力がいると氣付いた瞬間でした…

バイオリズムに左右されやすい人は注意しましょうねつ

処世術！？

様々な事が多様化し便利になつた反面、何事も管理され人と人との関わりも希薄化し、薄っぺらい生きにくい世の中ですが、皆さんは日々人間関係などで苦労されていませんか！？

正直僕は、表面上の良好な関係を作るのは得意ですが、深く付き合う人間関係は苦手…というか面倒くさいです。

勿論良好な人間関係を構築する為には、ヨイショや接待、飲みに付き合ひ事などや話を聞くetc…とても大事です。

が、とても労力を必要とし時間も取られ精神的にも疲弊する事もしばしばあるのも事実です…

人間関係が原因で会社や学校を辞めた方も多いことでしょう。

僕は水商売をやっていた何年間かの合間に、水商売から離れていた時期があると以前書きましたが、そういう時によく肉体労働をしていました。

理由はキツい為、人手が足りない場合が多く仕事にありつける率が高い事と日払いである事、そして一番の理由は煩わしい人間関係がないという事でした…

水商売で色んな意味で人間関係に疲れると、やる事だけしつかりやれば後は干渉されない世界に行きたくなるのです。

…しかしそんな環境も頑張り過ぎれば変化が起こるもので、一生懸命やつてしまふと周りは目を掛けてくれるものです…

そう、煩わしい人間関係が無いと思えた仕事が段々と煩わしくなる瞬間です。

目を掛けでもらえるようになると、それまで現場特有のキツい言い回しの注意やアレやれコレやれから解放される反面、輪の中に入つてコミュニケーションを取らざるようになります、挙げ句…やつぱり飲みに付き合わされるようになるのです…（泣）

そして決まり文句が、

「寮に入つてこれ一本で頑張りなよ！」

いつもなるともう怒涛の如き半ば強制的な付き合いが、ほぼ毎日展開されるようになるのです…

現場仕事の人達の付き合いの方が水商売の時の付き合いより何事もとことん付き合わされるので僕にとつては地獄でした。

結局、仕事よりも仕事後の付き合いの方が嫌で辞めたのですが、その時に思ったのは、

「何事も全力でやるより7割の力でやつてた方が色々な意味でいいな…」

と思いました。

贊否両論あると思いますが、全力でやっているといつか躓く時が来ると言いたい今日この頃つ（笑）

男と女の裏事情

もう少しすると恋人がいない寂しい季節がやって参ります。街中は、いつもよりカップルが目立つように感じてしまうのは僕だけでしょうか！？

水商売の仕事をしていると、日中は殆ど寝てるので基本普通の生活を送っている人達とは余り交わる事はありません。まあ寝る間を惜しんでパチンコしたり遊んだりする事もありますが、そんな事をいつもしてたら仕事に支障が出てしまいます。

当然付き合う恋人も過半数が同じ水商売の中で知り合う訳です。これには、いくつか理由があります。

まず第一に日中活動している人と生活サイクルが合わない。僕も水商売人だった時に大学生と何度か付き合った事がありますが、休みの日でデートなどする時、昼くらいから合ってというのは、かなり辛かったです。

それに話題が若干噛み合わなかつたり色々と問題がありましたが、一番の問題は将来を考えられないという事でした。

片や真面目な学生でこれから可能性の大きいにある女の口、もう一方は事業に失敗して借金を抱え水商売に身を投じ、裏の世界の方々の周りで仕事をしている男…

どう考えても先は見えません。

『ただ単にその時を楽しんていればいいじゃん』

という人は、それでもいいかもしませんが、誰だつて付き合うヒトとの将来を少しばかり想像するでしょう…

などの理由で水商売人は同じ水商売人と付き合うのです。同じ業界の女の口の場合、結構波乱万丈な人生を送ってきている口が多いので多少の借金やトラブルでは同様しません。むしろ付き合った後で、

「実は子供がいるんだつ…などとこちらが面食らう事を言われた

事もままあります。

互いに傷を舐め合う訳ではありませんが、似たような境遇に親近感を持つのは事実です…

そして、もう一つの理由…水商売の世界に生きる人間は、どこか影のある異性に惹かれ易いという事…

はつきり言ってコレは良い結果は余り生まれない現象で、この影に良い事は殆ど有りません。

しかし惹かれ続けてしまう。

これは水商売の魔力なかもしれませんねつ

夢と現実、…

気がつくともう一ヶ月… 時が過ぎるのは、あっという間ですね。

お水裏街道を書き始めて早1年が経とうとしています。

こんな前置きをすると終わりそうな雰囲気ですが、まだまだマッタリと書き続けていくのでこのサイトの書き物としては、ちょっとぴり！？変わっていますが読んでくれている方々これからも不定期更新ですが、どうぞ宜しくお付き合いで下さいませ。

某占い師の方がＴＶなどで、

「仕事に楽しみや夢を求めるのが、そもそも間違いなの」仕事を生きる為にお金を稼ぐもの。苦しくて当たり前なの」と語つておられました。

まだ若い人は、こんな事を言われたり聞いたりしたら、「仕事に夢求めたっていいじゃんつ楽しい方が長く続くしつ」と反論したくなる人もかなありいると思います。

夢を追う事は僕は否定しません。

むしろ夢を持つて生きている人が輝いていてエネルギーを感じます。

僕自身は、まだ十代の時に仕事とは別に小さい頃からの夢であつた絵描きになろうと焦つて失敗しましたが、既に夢が本当に夢と消えた自分には夢追い人を見ると羨ましくもあり、寂しい気持ちにもなつてしまします…

まだキャバクラで働き始めて半年くらいの時期に、最初1日の売り上げが15万くらいしかいかない店を、1日平均80万まで上げた事がありました。

もちろん自分1人の力ではなく、部長以外全てのスタッフや女の口達が一丸となつて半年でその界隈では人気店の仲間入りを果たしたのです。

本当にその頃は毎日が必死で水商売人生の中で完全燃焼したのはこの店だけでした。

なんとか店をもつともつと良くして街一番とはいからいまで、自分達の界隈で一番の店にしようと思え、よく部長と他店を見に行ったり、お店の女の口一人一人と話し合い一番その口に合った仕事が出来るように日夜取り組み客引きも、今でもあの頃の自分を超える客引きはいないと自負する程一層力を入れて頑張りました。そう、僕は自分の店を『誰にでも誇れる店にしたい!』と新たに夢を抱いたのです。

暫くの間は順調でした。

そして部長と話し合い、もつと店内のインテリアをセンス良くして女の口のスカウトにも力を入れてなどと熱く語つて数日後、部長が珍しく営業時間に遅れて來たのです…

軽くアルコールも入つていて何だかおかしいな?…と思いながら仕事をしていました。

店が終わって女の口達の送りに向かい、後は一番遠い女の口一人を送り届けるだけになつた頃、携帯に部長から着信が入り出ると、「〇〇君、もう送り終わった?」

「後は〇〇さんを送つて終わりですっ」と切り返すと、少し間が空いてから、

「ちょっと送りが終わつたら悪いんだけど、店の方に戻つて来てくれるかな。」内心、『何かあつたな…』と思いながら、

「分かりました送り終わり次第店に戻ります。」と返答し電話を切りました。

通常、送りが終わつたらそのまま直帰なので、店に戻つて来てという事は何かがない限り有りません…

しかも声の感じからして飲みに行こうといふ雰囲気でもありませんでした…

店に戻つてみると一番奥のテーブルで部長が一人、ビールを飲んで

僕を待つていました。

「お疲れ様ですっ部長。」

と声を掛け向かいのソファーに腰を下ろすと、部長が僕にもビールを勧めてきたので戴いて飲み始めました。

最初は、たわいもない話ばかりしていたので、自分の思い過ごしかなと考え直し、2本目のビールを飲み終わつた辺りで少し間を置いた後、部長が話を切り出し始めたのです…

「○○君つこの店はもうダメだねつ！これ以上良くならないよつ」

唐突にそう切り出されたので一瞬固まり、我に帰つて理由を聞くと…

「店を良くしようと○○君と話し合つたプランを社長に相談したらさあつ、そんな事しなくていいつーなるべく金掛けないで今以上に売上上げろ！だつて。

言つてる事おかしくない！？

良くする為の投資もしないで売上だけ上がる訳ないじゃんねつ」

…それを聞いて僕は一瞬自分で冷たい風が吹き抜けていくのを感じました。

はつきり言つて、その時点ではかなり儲かつっていました。

そう、社長の高級車も店の女の口を口説いて囮う金も店の売上から捻出されているのは聞かなくても明白でした。

そんな金の使い方をしておいて、一方で数十万の投資をケチる…僕も部長も何だかやる気が抜けてしましました…

その後少しして、社長から僕にもその話関連で釘を刺され一層やる気が失せたのは言つまでもありません…

僕は、その数ヶ月後に店を辞めましたが、店の方はといえば半年後には潰れていきました。

僕の夢はまたしても夢で終わつてしましましたが、夢を持って生きている皆さんには頑張つて実現させてもらいたいと思つ今日この頃ですっ

最悪な気分

今年もクリスマスが近づいてきましたね。話は変わりますが、皆さん、年に一度くらいは最悪な気分な時がありますよね！？

例えば恋人に振られた時やギャンブルに大負けした時、または受験や就職に失敗した時など…

日々の人間関係に疲れ果て、毎日仕事に行つたり学校に行くのが死ぬほど嫌な人も大勢いる事でしょう…

そんな時、アナタならどうやってその何もかもヤメてしまいたいようなぶち壊したいような気分を解消しますか！？

昨今の日本では、そういう時に解消する術が無く、全く関係の無い人間を巻き込む重大事件が多発していますが、このいわゆるガス抜きが上手く出来るかどうかで先の人生が大きく変わっていくような気がします。

僕の場合、何かとても嫌な事があつてどうしようもない時…とりあえず寝ますっ（笑）

眠れるような精神状態じゃなくても無理矢理眠るんです。人間少しでも眠れば、若干ですが気持ちが落ち着きます。

その後、少し落ち着いてから考え始めるのです…

何故そうなったのか！？や、どうしたら良いのかなどなど…

水商売の世界にいた時に、ブチ切れるような事に頻繁に遭遇する度に僕は寝る事の効果を実感しました。

皆さんも例えばクリスマス前に恋人に振られた時などに、実践してみて下さい。

友達に聞いてもらつたり慰めてもらつてもいいですが、友人といえど、人間は心の中では面白がっている場合が殆どなので。ピエロにはなりたくない人にはお勧めの方法ですよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1393d/>

お水 裏街道

2010年10月17日15時14分発行